

Ⅲ 樹木の状況

1. 樹木の状況

1-1. 樹木本数の概況

本調査では胸高直径が 50cm 以上の樹木を対象として測定を実施した。樹木本数の概況を表Ⅲ-1 に示す。

本区の樹木の総数は 7,253 本で、1 ha あたりの樹木本数は 6.4 本、1,000 人あたりの樹木本数は約 33 本となっている。

1 ha あたりの樹木本数、1,000 人あたりの樹木本数の状況について、本区と他区の比較を図Ⅲ-1、図Ⅲ-2 に示す。

本区の単位面積あたりの樹木本数は 5 本/ha を越え、データのある他区と比較しても極めて高い水準にある。本区の隣接区の台東区・新宿区と比較しても上回っている。

また、1,000 人あたりの樹木本数でも、他区と比較すると、港区 33.1 本（H23）に次ぐ 32.7 本という結果であった。

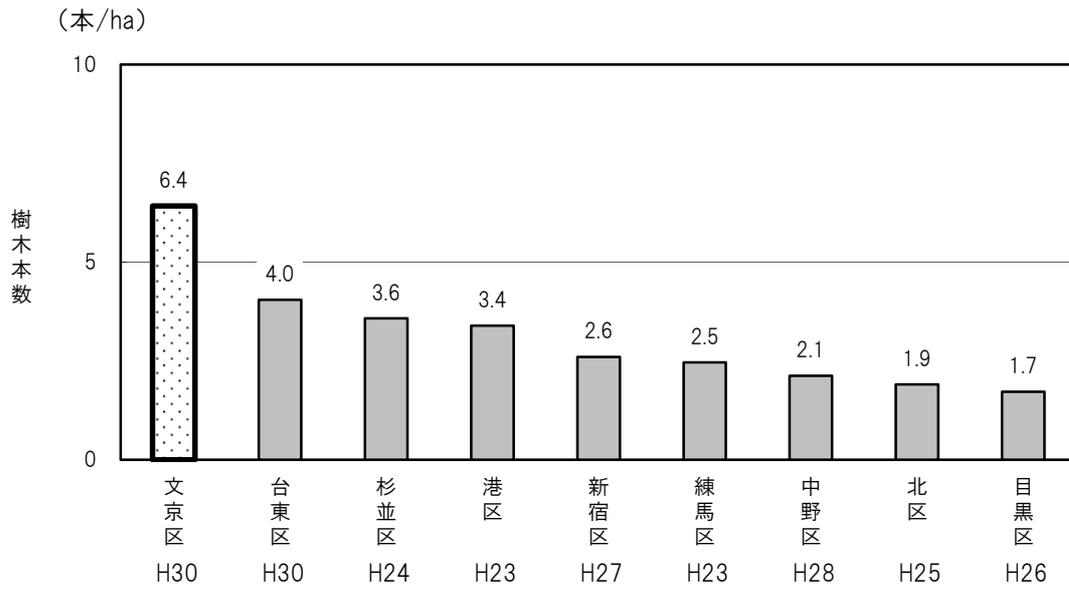
このように樹木本数が多い理由として、小石川後樂園、六義園などの大規模庭園、東京大学やお茶の水女子大学など、樹木の多い大規模施設が存在していることが考えられる。

表Ⅲ-1 文京区の樹木概況

	面積 (ha)	人口* (人)	樹木本数 (本)	樹木本数 (本/ha)	樹木本数 (本/1,000人)
文京区全体	1,129	221,489	7,253	6.4	32.7

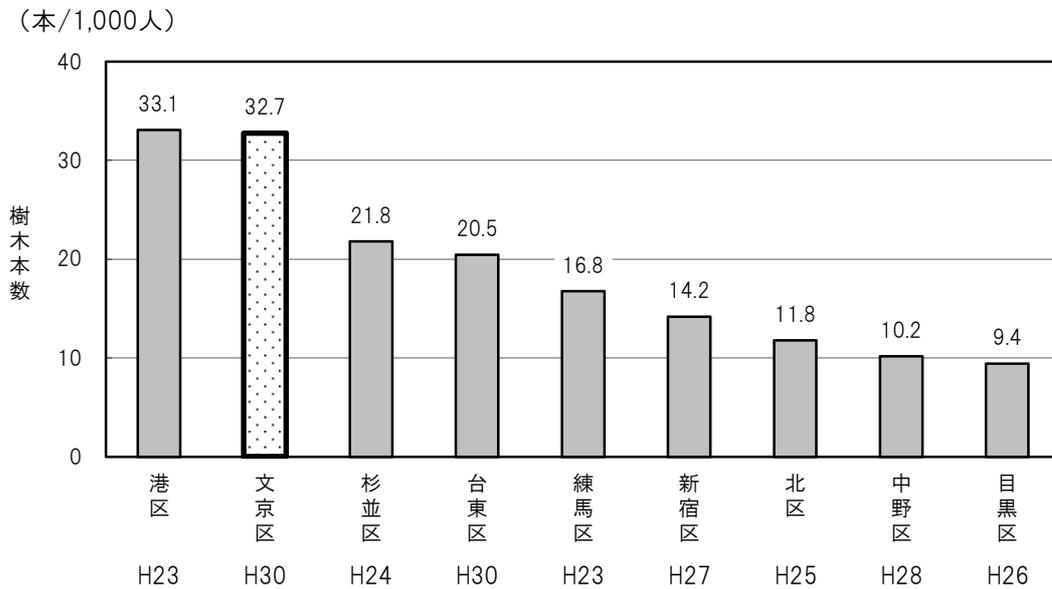
注：胸高直径 50cm 以上の樹木を対象。

*：人口は、平成 31 年 1 月 1 日現在の外国人を含む住民基本台帳の数値。



注 1：直径 50cm 以上の樹木を調査対象としている。（台東区と中野区は幹周 150cm 以上対象）
 2：区名の下に数字はそれぞれの区の調査年度（平成）。
 3：近 10 年の調査区および対象可能な集計を実施している区。

図Ⅲ－1 各区 1 ha あたりの樹木本数



注 1：直径 50cm 以上の樹木を調査対象としている。（台東区と中野区は幹周 150cm 以上対象）
 2：区名の下に数字はそれぞれの区の調査年度（平成）。
 3：近 10 年の調査区および対象可能な集計を実施している区。

図Ⅲ－2 各区 1,000 人あたりの樹木本数

1-2. 樹木の分布状況

(1) 区域別樹木本数

区域別の樹木の分布状況を表Ⅲ-2に示す。図Ⅲ-3に区域別の樹木本数、図Ⅲ-4に区域別の樹木密度、図Ⅲ-5に人口1,000人あたりの樹木本数をそれぞれ示す。

表Ⅲ-2 区域別樹木本数

区域番号	区域名称	面積 (ha)	人口 (人)	樹木本数 (本)	樹木密度 (本/ha)	1,000人当たり 樹木本数 (本/1,000人)
1	後楽	36.3	2,265	56	1.5	24.7
2	春日	33.6	5,766	170	5.1	29.5
3	小石川南	44.5	12,929	83	1.9	6.4
4	小石川北	41.2	9,731	194	4.7	19.9
5	白山南	34.1	9,330	103	3.0	11.0
6	白山北	48.1	9,267	102	2.1	11.0
7	千石	68.8	19,130	135	2.0	7.1
8	水道	19.3	6,548	6	0.3	0.9
9	小日向	50.2	8,219	77	1.5	9.4
10	大塚南	55.1	7,112	756	13.7	106.3
11	大塚北	50.9	11,535	231	4.5	20.0
12	関口	43.9	6,823	480	10.9	70.4
13	目白台	48.5	7,168	508	10.5	70.9
14	音羽	19.3	5,956	34	1.8	5.7
15	本郷南	55.6	10,826	89	1.6	8.2
16	本郷北	37.9	9,905	55	1.5	5.6
17	湯島	55.3	9,598	226	4.1	23.5
18	西片	27.9	5,444	66	2.4	12.1
19	向丘	35.4	6,907	174	4.9	25.2
20	弥生	27.2	1,989	332	12.2	166.9
21	根津	20.5	6,487	102	5.0	15.7
22	千駄木	72.7	20,631	178	2.4	8.6
23	本駒込東	53.5	13,597	266	5.0	19.6
24	本駒込西	66.9	13,839	240	3.6	17.3
	一般区域小計	1,046.7	221,002	4,663	4.5	21.1
25	東大本郷	42.8	487	725	16.9	1,488.7
26	六義園	8.8	—	430	48.9	—
27	後楽園	7.1	—	388	54.6	—
28	植物園	16.1	—	671	41.7	—
29	豊島岡墓地	7.8	—	376	48.2	—
	特別区域小計	82.6	487	2,590	31.4	—
	区全体	1,129.0	221,489	7,253	—	—
	区平均	—	—	250	6.4	32.7

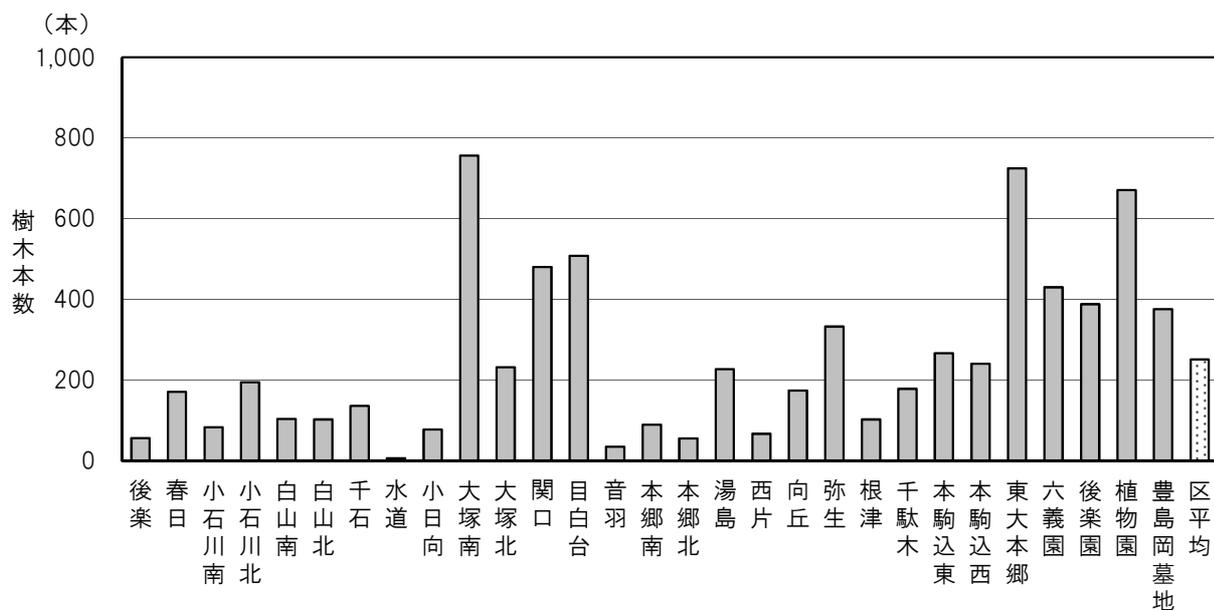
注：人口は、平成31年1月1日現在。(外国人を含む)

区域別樹木本数の平均は 250 本であった。特別区域では、いずれの区域も平均以上の樹木本数を有し、区の総樹木本数に対して、1/3 以上の樹木が特別区域に存在する。

一般区域では、大塚南、目白台、関口、弥生、本駒込東において平均以上の樹木が確認された。これらの地域には大学や大規模公園などの施設が所在し、住居系の土地利用の区域となっている。

一方、水道、音羽においては、樹木本数が特に少ない。これらの区域の土地利用は商業系である。

- | | |
|--------------|---------------------------|
| ○ 樹木の多い区域 | : 特別区域、大塚南、目白台、関口、弥生、本駒込東 |
| ○ 樹木の特に少ない区域 | : 水道、音羽 |



図Ⅲ－3 区域別樹木本数

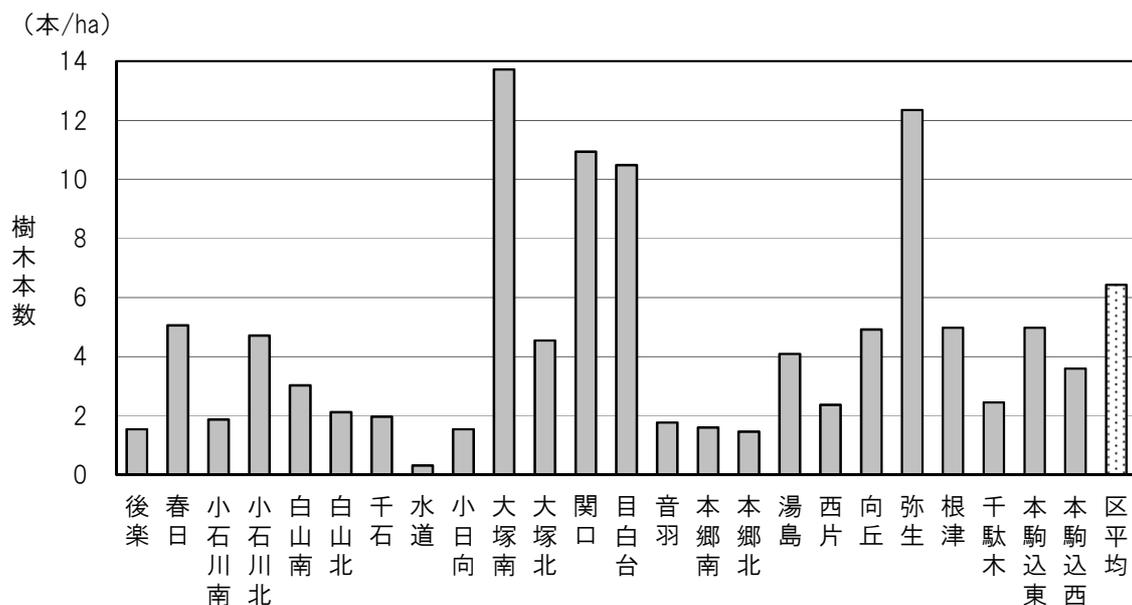
樹木密度（本/ha）は特別区域で特に高くなっている。一般区域の樹木密度では、大塚南（13.7本）、弥生（12.2本）、関口（10.9本）、目白台（10.5本）の順に高くなっている。

大塚北、本駒込東、本駒込西、湯島などは、樹木本数は200本を超えて比較的多いものの特別に樹木密度が高い区域とはならなかった。

樹木密度が特に低い区域として、水道（0.3本）があげられる。樹木密度が1haあたり1本以下であった区域はここだけであった。

樹木密度の高い区域は、規模の大きな緑地が区域内にある所で、なおかつ住居系の地域であり、一方密度の低い地域は、規模の大きな緑地がなく、商業系の地域であるといえる。

- | | | |
|------------|---|---------------|
| ○樹木密度の高い区域 | ： | 大塚南、弥生、関口、目白台 |
| ○樹木密度が低い区域 | ： | 水道、音羽、後楽 |

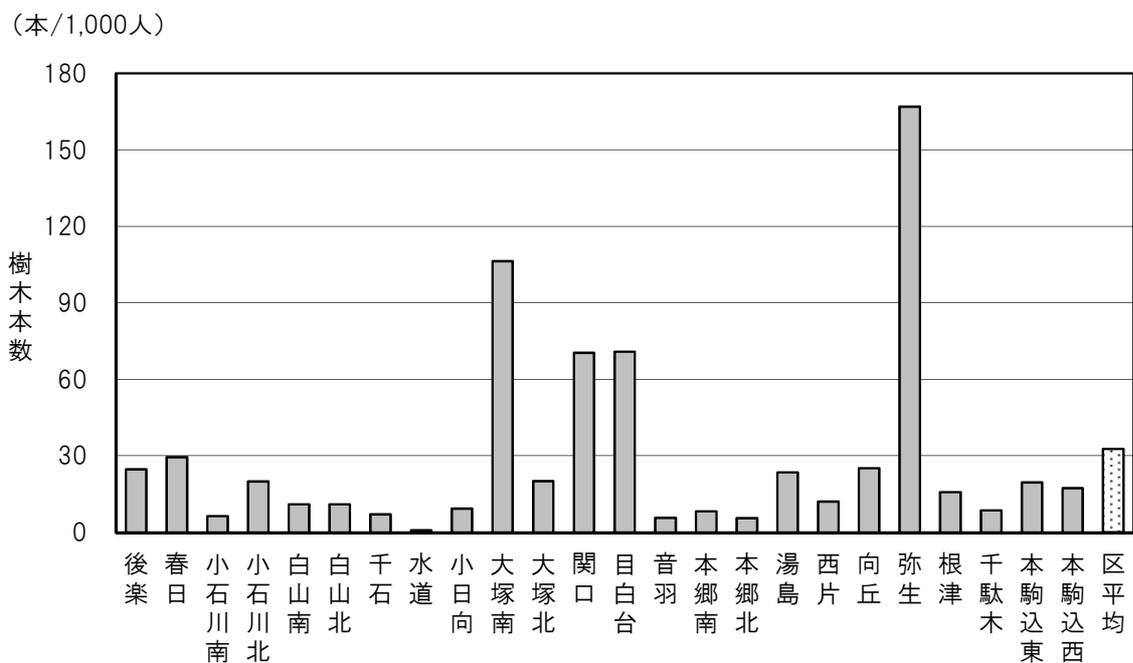


注：特別区域は除く。

図Ⅲ－４ 区域別樹木密度

人口 1,000 人あたりの樹木本数が特に多い区域は、弥生 167 本、大塚南 106 本、目白台 71 本、関口 70 本である。一方、人口あたりの樹木本数がもっとも少ない区域は水道（1 本）であり、音羽、小石川南、本郷北が 6 本と続いている。この特徴は、面積あたりの樹木本数とほぼ同様の結果となっている。

- 人口あたりの樹木本数の多い区域 : 弥生、大塚南、目白台、関口
- 人口あたりの樹木本数の少ない区域 : 水道



注：人口は、平成 31 年 1 月 1 日現在（外国人を含む）。特別区域は除く。

図Ⅲ－5 区域別人口 1,000 人あたりの樹木本数

(2) 町丁目別樹木本数

町丁目別の樹木本数の状況を図Ⅲ-6、図Ⅲ-7に示す。

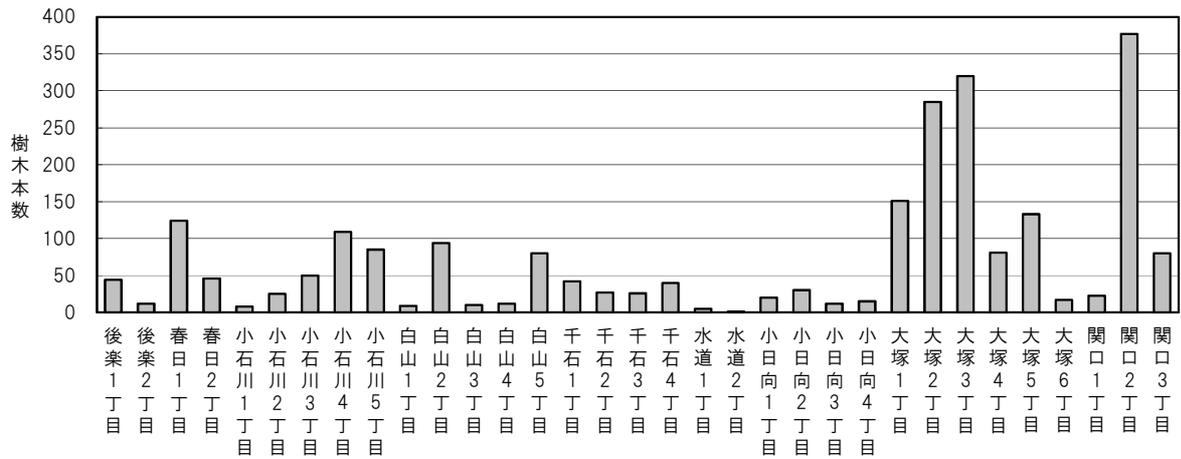
特別区域は樹木分布が多く、特に東大本郷、小石川植物園では際立って多くなっている。

特別区域以外では、区の西部の目白台から関口の一帯、大塚の一帯、東部の本駒込から東大本郷までの一帯において、比較的多くの樹木を有する町丁目が分布している。また、区の南部において樹木の少ない町丁目が目立つ。

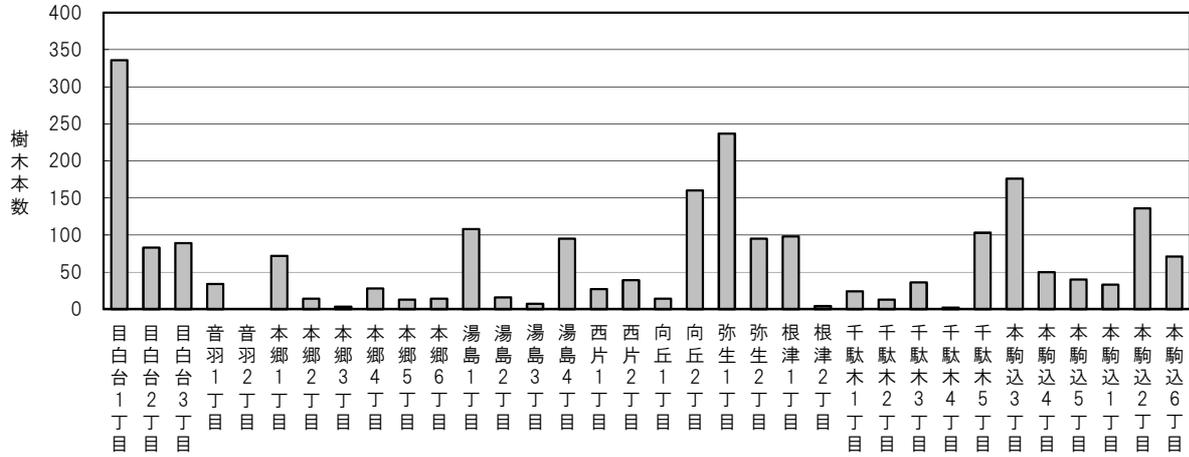


図Ⅲ-6 町丁目別の樹木本数の状況

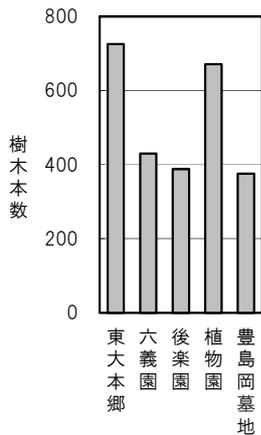
(本) <町丁目(特別区域を除く)>



(本)



(本) <特別区域>



注：胸高直径 50 cm 以上の樹木本数。

図Ⅲ－7 町丁目別の樹木本数

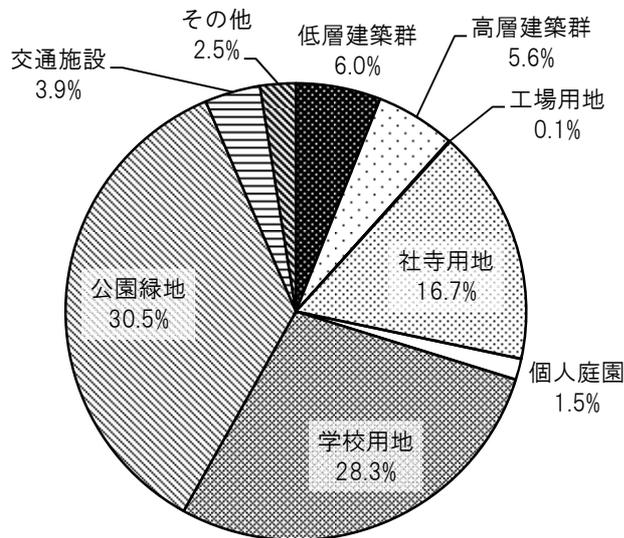
(3) 都市構造区分別樹木本数

都市構造区分別樹木本数を表Ⅲ－3、区域別の都市構造区分別樹木本数を表Ⅲ－4に、都市構造区分別の樹木本数比率を図Ⅲ－8にそれぞれ示す。

区分別では公園緑地、学校用地、社寺用地に樹木が多く、合わせて6,000本近い樹木がこれらの用地に存在しており、本区全体の約8割を占めている。

表Ⅲ－3 都市構造区分別樹木本数

都市構造区分	樹木本数(本)	密度(本/ha)
低層建築群	433	1.4
高層建築群	407	1.1
工場用地	6	0.3
社寺用地	1,209	20.8
個人庭園	108	30.0
学校用地	2,052	13.7
公園緑地	2,574	45.1
交通施設	283	2.4
河川	0	0.0
その他	181	6.8
区全体	7,253	6.4



図Ⅲ－8 都市構造区分別樹木本数比率

区域別では、大規模施設や公園緑地、社寺用地などの有無によって偏りがあり、学校用地、公園緑地、社寺用地などが多く存在する区域で樹木が多くなっている。

表Ⅲ－４ 区域別都市構造区分別の樹木本数

(単位：本)

区域 番号	区域	都市構造区分										合計
		低層 建築群	高層 建築群	工場 用地	社寺 用地	個人 庭園	学校 用地	公園 緑地	交通 施設	河川	その他	
1	後楽	6	26	0	0	0	1	5	8	0	10	56
2	春日	13	5	0	2	19	77	31	21	0	2	170
3	小石川南	11	3	1	51	5	5	4	3	0	0	83
4	小石川北	3	22	0	28	20	27	42	52	0	0	194
5	白山南	8	2	0	10	0	38	5	4	0	36	103
6	白山北	2	5	0	45	0	7	12	31	0	0	102
7	千石	29	31	0	8	0	20	44	3	0	0	135
8	水道	1	1	0	0	0	0	0	4	0	0	6
9	小日向	10	7	0	38	0	16	5	1	0	0	77
10	大塚南	2	13	0	9	11	446	274	1	0	0	756
11	大塚北	9	14	0	114	0	19	73	2	0	0	231
12	関口	134	31	5	31	9	5	125	31	0	109	480
13	目白台	76	19	0	1	0	184	193	35	0	0	508
14	音羽	0	0	0	2	32	0	0	0	0	0	34
15	本郷南	12	19	0	2	0	18	35	3	0	0	89
16	本郷北	8	22	0	6	0	2	17	0	0	0	55
17	湯島	18	51	0	71	0	28	28	30	0	0	226
18	西片	38	8	0	0	0	6	13	1	0	0	66
19	向丘	1	0	0	136	0	14	5	18	0	0	174
20	弥生	1	1	0	0	0	327	0	3	0	0	332
21	根津	4	3	0	89	0	6	0	0	0	0	102
22	千駄木	29	9	0	30	7	49	49	5	0	0	178
23	本駒込東	1	4	0	133	5	16	68	15	0	24	266
24	本駒込西	17	110	0	27	0	27	57	2	0	0	240
一般区域小計		433	406	6	833	108	1,338	1,085	273	0	181	4,663
25	東大本郷	0	1	0	0	0	714	0	10	0	0	725
26	六義園	0	0	0	0	0	0	430	0	0	0	430
27	後楽園	0	0	0	0	0	0	388	0	0	0	388
28	植物園	0	0	0	0	0	0	671	0	0	0	671
29	豊島岡墓地	0	0	0	376	0	0	0	0	0	0	376
特別区域小計		0	1	0	376	0	714	1,489	10	0	0	2,590
区全体		433	407	6	1,209	108	2,052	2,574	283	0	181	7,253

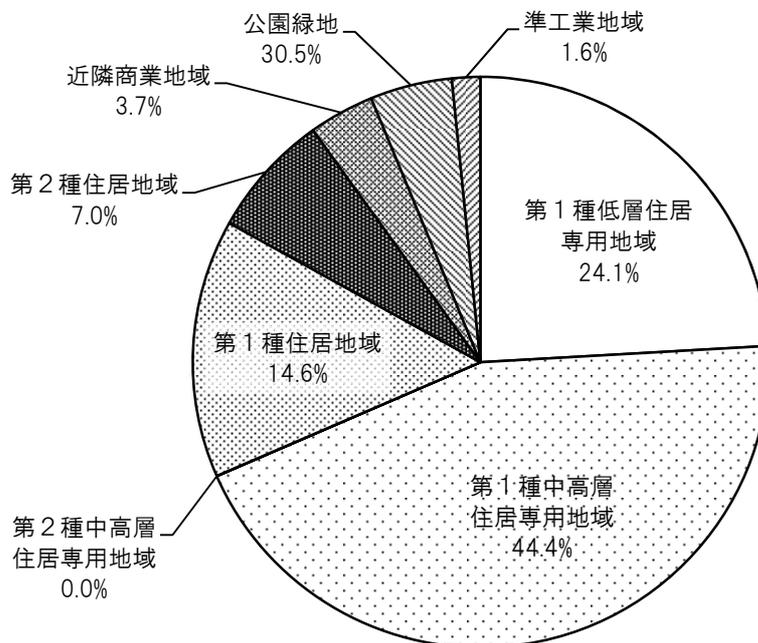
(4) 用途地域別樹木本数

用途地域別樹木本数を表Ⅲ－5、区域別の用途区域別樹木本数を表Ⅲ－6に、構成比率を図Ⅲ－9にそれぞれ示す。

区分別では、第1種中高層住居専用地域、第1種低層住居専用地域、第1種住居地域に樹木が多くみられ、これらの地域に80%以上の樹木が存在している。

表Ⅲ－5 用途地域別樹木本数

用途地域区分	樹木本数(本)	密度(本/ha)
第1種低層住居専用地域	1,748	14.4
第1種中高層住居専用地域	3,217	9.6
第2種中高層住居専用地域	1	0.1
第1種住居地域	1,061	5.9
第2種住居地域	508	10.4
近隣商業地域	268	2.2
商業地域	334	1.4
準工業地域	116	1.5
合計	7,253	6.4



図Ⅲ－9 用途地域別樹木本数構成比率

区域別では、樹木密度の高い第1種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種住居地域を多く有する区域で樹木本数が多い傾向にある。敷地の半数以上を第1種中高層住居専用地域が占めている弥生、大塚南では、地域内の樹木の90%以上が第1種中高層住居専用地域に存在している。各区域における用途地域区分の構成状況が、樹木分布の特徴として反映されている。

表Ⅲ－6 区域別用途地域別の樹木本数

(単位：本)

区域番号	区域	用途地域区分							合計	
		第1種低層住居専用地域	第1種中高層住居専用地域	第2種中高層住居専用地域	第1種住居地域	第2種住居地域	近隣商業地域	商業地域		準工業地域
1	後楽	0	0	0	5	1	1	42	7	56
2	春日	0	23	0	109	5	19	14	0	170
3	小石川南	0	61	0	1	0	0	1	20	83
4	小石川北	0	52	0	57	46	0	7	32	194
5	白山南	1	0	0	90	0	0	7	5	103
6	白山北	9	3	0	54	0	24	2	10	102
7	千石	9	68	0	40	2	7	6	3	135
8	水道	0	0	0	0	3	0	0	3	6
9	小日向	38	12	0	22	5	0	0	0	77
10	大塚南	0	706	0	17	0	12	12	9	756
11	大塚北	0	180	0	32	0	0	12	7	231
12	関口	176	0	0	0	278	3	3	20	480
13	目白台	260	134	0	1	5	72	36	0	508
14	音羽	32	0	0	0	0	0	2	0	34
15	本郷南	0	0	0	12	0	62	15	0	89
16	本郷北	0	0	0	47	1	4	3	0	55
17	湯島	0	28	0	70	56	16	56	0	226
18	西片	52	0	0	9	2	1	2	0	66
19	向丘	0	94	0	22	0	16	42	0	174
20	弥生	0	317	1	13	0	0	1	0	332
21	根津	0	86	0	6	2	8	0	0	102
22	千駄木	0	160	0	0	0	18	0	0	178
23	本駒込東	0	195	0	44	0	4	23	0	266
24	本駒込西	70	17	0	22	102	1	28	0	240
一般区域小計		647	2,136	1	673	508	268	314	116	4,663
25	東大本郷	0	724	0	0	0	0	1	0	725
26	六義園	430	0	0	0	0	0	0	0	430
27	後楽園	0	0	0	388	0	0	0	0	388
28	植物園	671	0	0	0	0	0	0	0	671
29	豊島岡墓地	0	357	0	0	0	0	19	0	376
特別区域小計		1,101	1,081	0	388	0	0	20	0	2,590
区全体		1,748	3,217	1	1,061	508	268	334	116	7,253

(5) 区域別公有地・民有地別樹木本数

区域別公有地・民有地別樹木数を表Ⅲ－7に示す。

本区においては、公有地の樹木本数が5,119本、民有地の樹木が2,134本で、公有地の樹木本数が全体の約70%を占めている。

しかし、特別区域を除いた一般区域で比較すると、公有地には2,530本、民有地は2,133本で、同程度の割合となる。

公有地の樹木本数が民有地より多い区域は、大塚南、弥生、小石川北、湯島、千駄木、春日、目白台、水道であり、そのほかの区域では、民有地の樹木本数の方が多くなっている。中でも、音羽、根津は、公有地の樹木の占める割合は10%にも満たない。

表Ⅲ－7 区域別公有地・民有地別樹木本数

(単位：本)

区域番号	区域	公有地	民有地	合計
1	後楽	14	42	56
2	春日	98	72	170
3	小石川南	12	71	83
4	小石川北	121	73	194
5	白山南	23	80	103
6	白山北	44	58	102
7	千石	64	71	135
8	水道	4	2	6
9	小日向	15	62	77
10	大塚南	702	54	756
11	大塚北	100	131	231
12	関口	159	321	480
13	目白台	281	227	508
14	音羽	0	34	34
15	本郷南	44	45	89
16	本郷北	20	35	55
17	湯島	133	93	226
18	西片	21	45	66
19	向丘	37	137	174
20	弥生	330	2	332
21	根津	6	96	102
22	千駄木	104	74	178
23	本駒込東	74	166	240
24	本駒込西	124	142	266
一般区域小計		2,530	2,133	4,663
25	東大本郷	724	1	725
26	六義園	430	0	430
27	後楽園	388	0	388
28	植物園	671	0	671
29	豊島岡墓地	376	0	376
特別区域小計		2,589	1	2,590
区全体		5,119	2,134	7,253

(6) 樹木本数の多い施設

樹木本数の多い施設として、胸高直径が 50cm 以上の樹木を 15 本以上有している施設について区分別に集計して表Ⅲ－8 に示す。

樹木の多い施設に存在する樹木は 5,625 本であり、区全体の樹木本数の 8 割近くを占めている。これは東京大学の関連施設（本郷キャンパス、小石川植物園）、六義園、小石川後樂園など特別区域にある施設の樹木が反映されているためである。

また、前回調査（4,967 本）から大幅に本数が増えており、施設区分別にみてもすべての区分で増加傾向にある。各施設において、前回調査では 50cm に満たなかった樹木の成長がうかがえる。

表Ⅲ－8 樹木本数の多い施設

区分	施設数	樹木本数	増減
	(箇所)	(本)	
学校	19	1,789	326
公園	22	2,392	264
社寺	18	592	48
公共施設	3	440	5
民有施設	9	412	15
合計	71	5,625	658

注 1：直径 50cm 以上の樹木を 15 本以上有している施設。

2：増減は前回調査（平成 24 年）との比較。

1-3. 樹木の大きさの状況

(1) 太さ別樹木本数

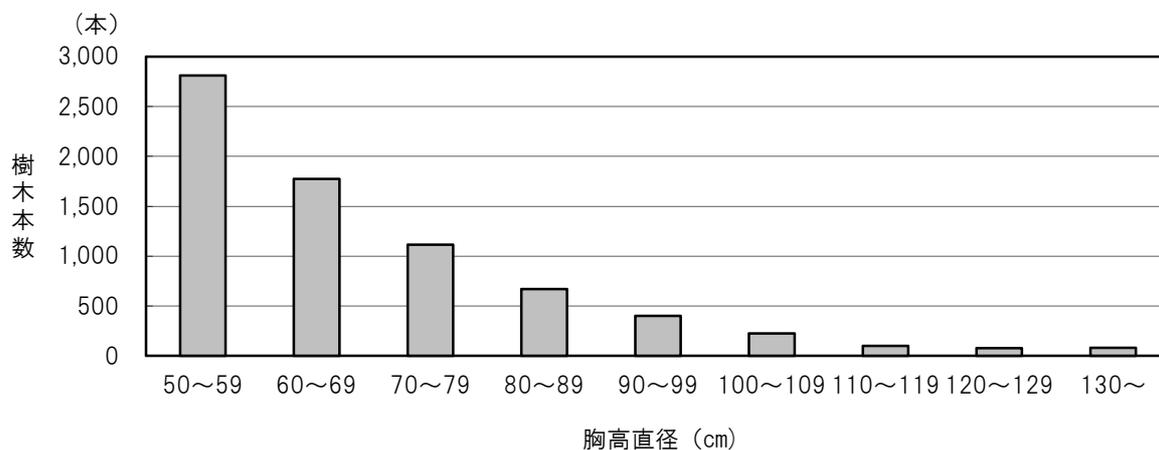
太さ別の樹木本数を表Ⅲ-9、図Ⅲ-10に、その構成比率を図Ⅲ-11に示す。

本区における樹木の大きさは、胸高直径 50~59cm の樹木が 2,809 本ともっとも多く、全体の約 40%を占めており、太く巨木になるほど本数が減少する傾向にある。今後成長を見込める樹木が多く、将来的な樹木維持の可能性を示している。

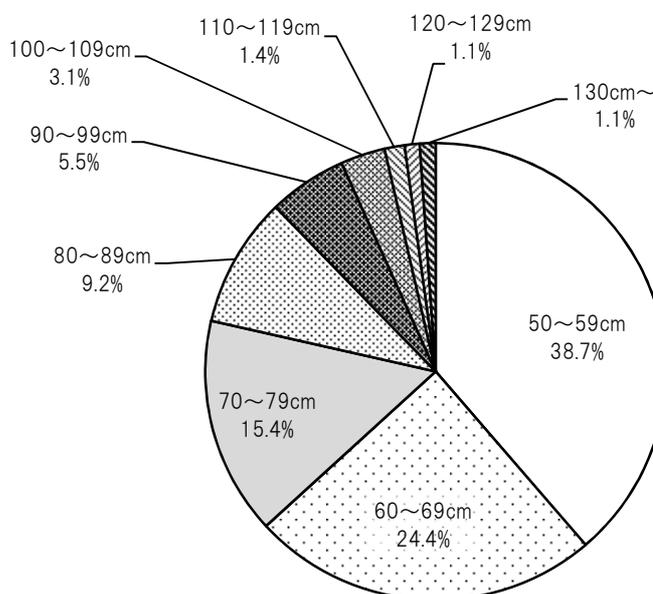
表Ⅲ-9 太さ別樹木本数

(単位：本)

胸高直径 (cm)	50~59	60~69	70~79	80~89	90~99	100~109	110~119	120~129	130~	合計
本数	2,809	1,773	1,116	669	401	226	101	77	81	7,253



図Ⅲ-10 太さ別樹木本数



図Ⅲ-11 太さ別樹木本数構成比率

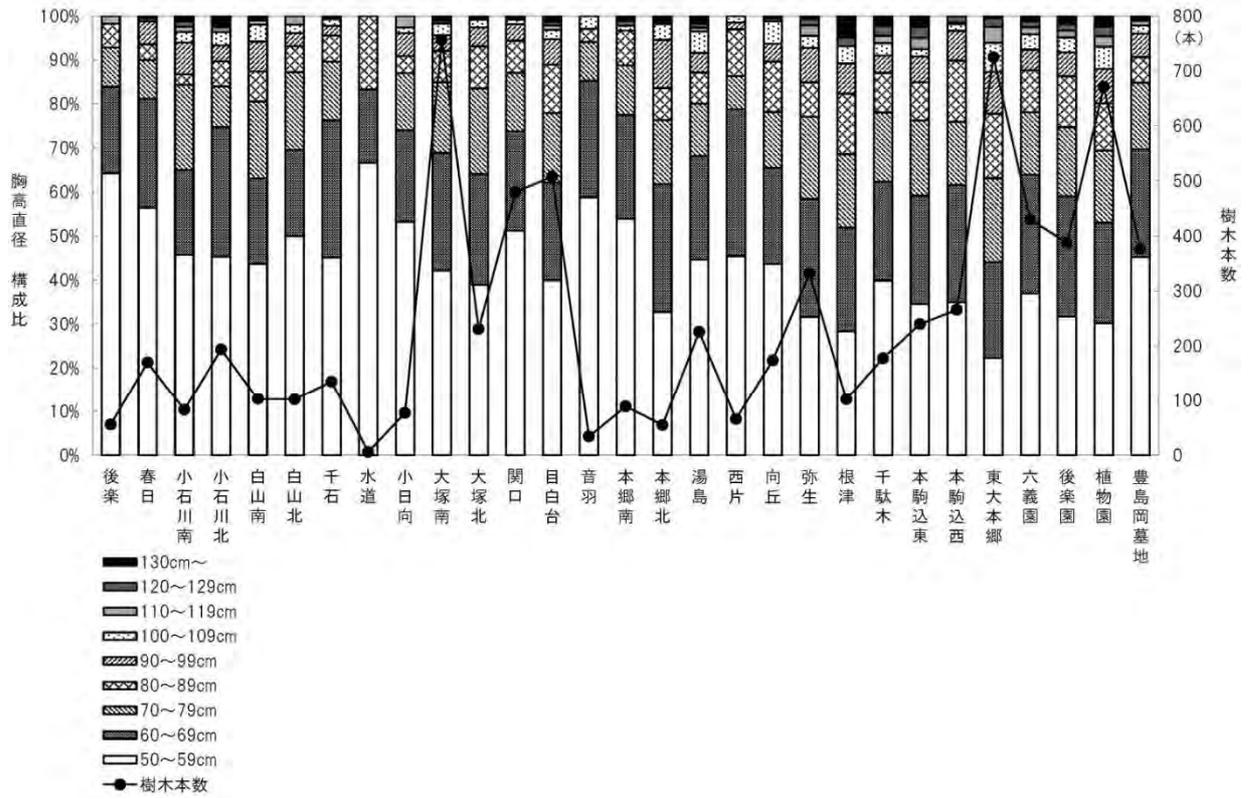
区域別の太さ別樹木本数とその構成比について表Ⅲ－１０、図Ⅲ－１２に示す。

一般区域には大径木が比較的少ない傾向がみられるが、小石川北、目白台、湯島、弥生、本駒込東、大塚南、向丘、千駄木の 8 区域においては、直径 100cm 以上の樹木がそれぞれ 10 本以上みられる。

一方、特別区域には直径 100cm 以上の大径木の樹木が 253 本存在しており、区全体における大径木の約半数を占めている。特に東大本郷には大径木が 92 本存在し、これらの樹木だけで区全体の大径木の約 2 割を占めていることになる。このことから、特別区域は樹木本数だけではなく、大径木の現存地としての価値も有している。

表Ⅲ－１０ 区域別太さ別樹木本数

区域 番号	区域	胸高直径 (cm)									合計	平均 直径 (cm)
		50~59	60~69	70~79	80~89	90~99	100~109	110~119	120~129	130~		
		(本)										
1	後楽	36	11	5	3	0	0	1	0	0	56	59.6
2	春日	96	42	15	6	9	1	0	0	1	170	61.5
3	小石川南	38	16	16	2	6	2	1	1	1	83	67.6
4	小石川北	88	57	18	11	7	6	2	1	4	194	66.2
5	白山南	45	20	18	7	7	4	1	0	1	103	67.0
6	白山北	51	20	18	6	3	2	2	0	0	102	64.0
7	千石	61	42	18	8	3	2	0	0	1	135	63.5
8	水道	4	1	0	1	0	0	0	0	0	6	61.5
9	小日向	41	16	10	3	4	1	2	0	0	77	63.9
10	大塚南	319	202	121	54	27	20	5	3	5	756	66.1
11	大塚北	90	58	45	22	10	4	1	0	1	231	66.6
12	関口	246	108	64	35	18	5	1	1	2	480	63.7
13	目白台	203	113	80	56	29	11	5	4	7	508	68.3
14	音羽	20	9	3	1	0	1	0	0	0	34	60.1
15	本郷南	48	21	10	7	0	1	0	1	1	89	64.3
16	本郷北	18	16	8	4	6	2	0	0	1	55	68.9
17	湯島	101	53	27	16	10	11	2	2	4	226	67.8
18	西片	30	22	5	7	1	1	0	0	0	66	63.5
19	向丘	76	38	22	20	7	9	1	0	1	174	67.9
20	弥生	105	89	62	26	26	9	8	5	2	332	70.3
21	根津	29	24	17	14	7	4	0	2	5	102	74.8
22	千駄木	71	40	28	16	7	5	3	4	4	178	69.3
23	本駒込東	83	59	41	21	14	4	6	6	6	240	71.3
24	本駒込西	93	71	38	37	18	4	1	4	0	266	68.4
	一般区域小計	1,992	1,148	689	383	219	109	42	34	47	4,663	66.8
25	東大本郷	162	158	138	106	69	48	26	14	4	725	75.8
26	六義園	159	116	61	41	20	15	7	6	5	430	69.4
27	後楽園	123	106	61	45	21	13	6	6	7	388	70.7
28	植物園	203	153	110	72	52	34	16	15	16	671	73.9
29	豊島岡墓地	170	92	57	22	20	7	4	2	2	376	65.6
	特別区域小計	817	625	427	286	182	117	59	43	34	2,590	72.0
	区全体	2,809	1,773	1,116	669	401	226	101	77	81	7,253	68.7



図Ⅲ－１２ 区域別太さ別樹木の構成比率

(2) 巨木

太さ順で胸高直径 150cm 以上の巨木の一覧を表Ⅲ－11に示す。

本区に生育する直径 150cm 以上の巨木の本数は 27 本で、これらは主に公園、社寺、学校などに存在している。また、もっとも直径が大きい木はクスノキであり、直径 270cm であった。

これらの巨木は、「善光寺坂のムクノキ」など、ランドマークとして地域の文化や景観に大きく寄与する樹木や、小石川植物園にある「精子発見のイチヨウ」のように学術的に価値の高い樹木も多く含まれている。

表Ⅲ－11 太さ 150cm 以上の樹木

順位	樹種名	胸高直径(cm)	区分	区域
1	クスノキ	270	民有施設	本郷南
2	スダジイ	260	社寺	向丘
3	クスノキ	199	公園	植物園
4	クスノキ	190	公園	植物園
5	イチヨウ	186	学校	大塚南
6	クスノキ	185	公園	本駒込東
7	クスノキ	180	公園	本駒込東
8	モミジバスズカケノキ	178	公園	植物園
9	クスノキ	175	公園	植物園
10	ムクノキ	173	公共施設	小石川南
11	クスノキ	171	公園	六義園
12	イチヨウ	163	社寺	根津
12	クスノキ	163	公園	六義園
14	イチヨウ	160	公園	植物園
14	イチヨウ	160	学校	東大本郷
16	ケヤキ	159	社寺	目白台
17	クスノキ	158	公園	植物園
18	ユリノキ	157	公園	植物園
19	イチヨウ	156	公園	大塚南
20	ケヤキ	155	公園	後楽園
20	クスノキ	155	公共施設	豊島岡墓地
22	イチヨウ	154	社寺	目白台
23	イチヨウ	152	社寺	大塚北
23	クスノキ	152	公園	関口
25	クスノキ	151	公園	六義園
25	クスノキ	151	公園	本駒込東
27	コーカサスサワグルミ	150	公園	植物園

1-4. 樹種の特徴

(1) 樹種別の樹木本数

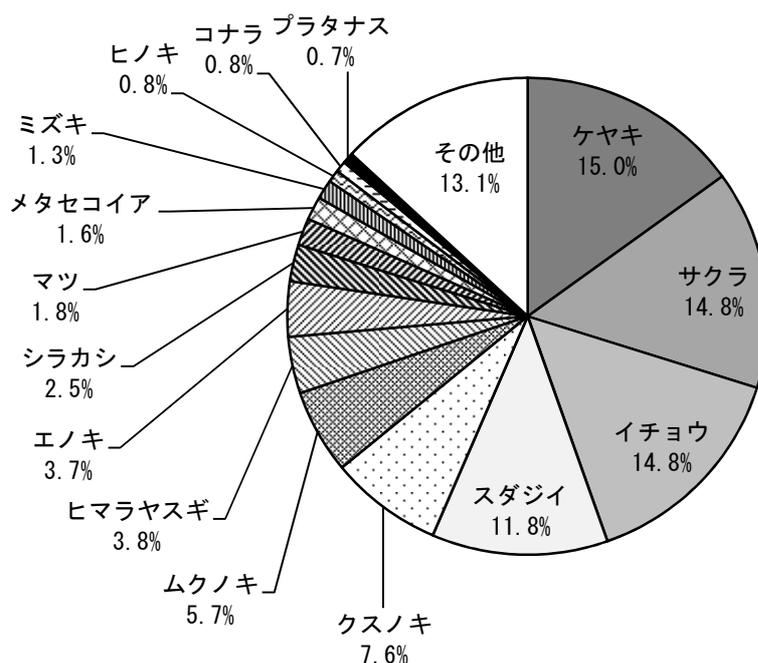
樹種別の樹木本数の構成を表Ⅲ-12に、その比率を図Ⅲ-13に示す。

○ 多い樹種：ケヤキ、サクラ、イチョウ、スダジイ

本区の樹木は樹種別ではケヤキがもっとも多く、1,089本であった。また、ケヤキ、サクラ、イチョウ、スダジイの上位4種が、本区の樹木本数の半数以上（56%）を占め、上位10種が本区の樹木の約8割を占めている。

表Ⅲ-12 樹種別樹木本数

順位	樹種名	本数	順位	樹種名	本数
1	ケヤキ	1,089	11	メタセコイア	115
2	サクラ	1,076	12	ミズキ	95
3	イチョウ	1,071	13	ヒノキ	60
4	スダジイ	859	14	コナラ	55
5	クスノキ	551	15	プラタナス	53
6	ムクノキ	415	-	その他	949
7	ヒマラヤスギ	279			
8	エノキ	271			
9	シラカシ	181			
10	マツ	134			
				合計	7,253



図Ⅲ-13 樹種別樹木本数構成比率

(2) 都市構造区分別樹種の特徴

本区の樹木本数上位 10 種の樹木について、都市構造区分別の本数を表Ⅲ－13 に示す。

公園緑地以外では上位 10 種の樹木数が 80%以上を占めているが、公園緑地で 80%を超えるのは上位 16 種となり、比較的多様な樹種で構成されている。

高層建築群、社寺用地、学校用地、交通用地において、イチョウの本数が本区で最上位本数のケヤキを上回ってもっとも多く、特に交通用地において顕著に現れている。一方、公園緑地では、イチョウは 6 番目とやや後退している。また、個人庭園ではスダジイがもっとも多く、社寺用地でもイチョウとほぼ並んで、2 番目にスダジイが位置している。

表Ⅲ－13 都市構造区分別樹種別樹木本数

(単位：本)

都市構造区分	樹 種											合計
	ケヤキ	サクラ	イチョウ	スダジイ	クスノキ	ムクナギ	ヒマラヤスギ*	エキ	シラカシ	マツ	その他	
低層建築群	57	89	43	71	37	17	8	20	17	18	56	433
高層建築群	61	71	106	51	48	10	11	8	7	1	33	407
工場用地	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	1	6
社寺用地	135	180	199	196	56	91	25	32	63	50	182	1,209
個人庭園	11	15	5	34	3	8	2	5	6	1	18	108
学校用地	323	260	412	167	130	87	207	109	26	9	322	2,052
公園緑地	462	387	106	284	238	188	24	88	56	55	686	2,574
交通施設	15	53	196	1	12	1	1	0	0	0	4	283
河川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	25	17	4	55	27	12	1	9	6	0	25	181
区全体	1,089	1,076	1,071	859	551	415	279	271	181	134	1,327	7,253

(3) 用途地域別樹種の特徴

本区の樹木本数上位 10 種の樹木について、用途地域別の本数を表Ⅲ－14 に示す。

第 1 種低層住宅専用地域以外では上位 10 種の樹木数が 80%以上を占めているが、第 1 種低層住宅専用地域で 80%を超えるのは上位 22 種となり、比較的多様な樹種で構成されている。第 1 種中高層住宅専用地域、第 2 種住居地域、近隣商業地域、商業地域においては、イチョウの本数が本区で最上位本数のケヤキを上回ってもっとも多くなっている。中でも、近隣商業地域では、イチョウに次いでサクラ、スダジイが多い。

また、第 1 種低層住宅専用地域では、サクラがもっとも多くなっている。

表Ⅲ－14 用途地域別樹種別樹木本数

(単位：本)

用途地域	樹 種											合計
	ケヤキ	サクラ	イチョウ	スダジイ	クスノキ	ムクナギ	ヒマラヤスギ*	エキ	シラカシ	マツ	その他	
第 1 種低層住居専用地域	216	279	79	200	136	102	21	71	54	53	537	1,748
第 1 種中高層住居専用地域	504	435	520	371	242	137	213	137	76	50	532	3,217
第 2 種中高層住居専用地域	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
第 1 種住居地域	184	156	104	144	82	141	25	49	21	14	141	1,061
第 2 種住居地域	60	96	100	73	47	19	5	12	19	15	62	508
近隣商業地域	32	39	97	37	10	4	10	1	7	2	29	268
商業地域	73	29	132	30	32	9	3	1	4	0	21	334
準工業地域	20	42	39	3	2	3	2	0	0	0	5	116
区全体	1,089	1,076	1,071	859	551	415	279	271	181	134	1,327	7,253

(4) 区域別樹種の特徴

区域別の樹種構成と比率を表Ⅲ－１５、図Ⅲ－１５～１８に示す。

一般区域では、ほとんどの区域で上位 10 種の樹木数が 80%以上を占めており、樹種の多様性は低い。そのうち、大塚南、音羽では、その他の樹種が 20%程度を占め、本区内においては樹種の多様性が比較的高い区域となっている。

表Ⅲ－１５ 区域別樹種別樹木本数

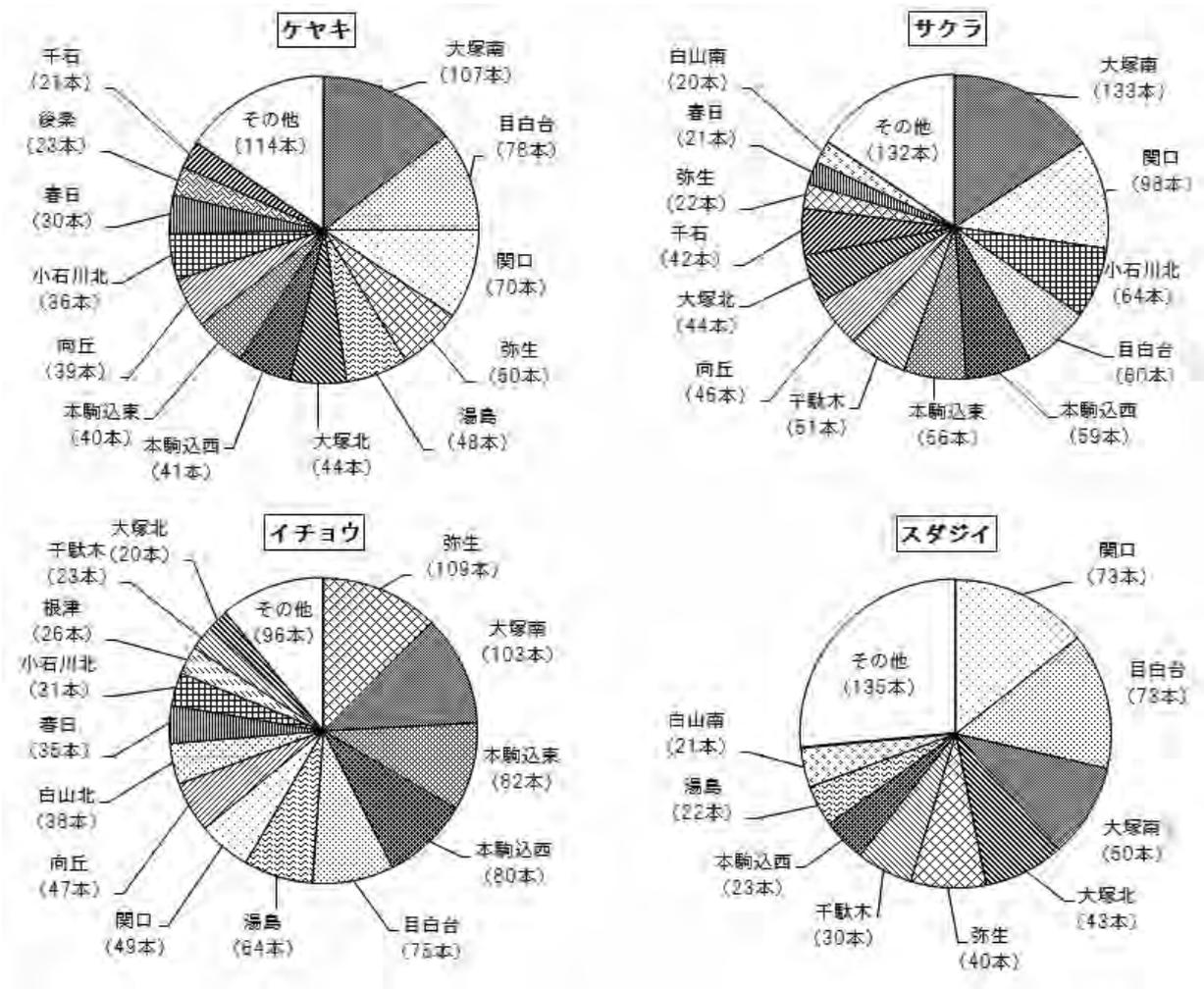
(単位：本)

区域 番号	区域	樹 種											合計
		ケヤキ	サクラ	イチヨウ	スダジイ	クスノキ	ムクノキ	ヒマラヤスギ*	エノキ	シラカシ	マツ	その他	
1	後楽	23	1	5	0	20	0	2	1	0	0	4	56
2	春日	30	21	35	15	17	12	12	9	0	0	19	170
3	小石川南	6	17	17	10	5	8	5	3	1	0	11	83
4	小石川北	36	64	31	13	18	8	4	0	2	0	18	194
5	白山南	12	20	15	21	1	8	8	7	2	0	9	103
6	白山北	17	12	38	7	4	12	1	3	1	0	7	102
7	千石	21	42	14	14	5	8	7	6	4	0	14	135
8	水道	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
9	小日向	8	19	8	4	2	8	4	6	4	4	10	77
10	大塚南	107	133	103	50	60	12	89	31	11	5	155	756
11	大塚北	44	44	20	43	8	3	10	3	7	9	40	231
12	関口	70	98	49	73	56	20	4	18	24	15	53	480
13	目白台	78	60	75	73	13	50	9	24	25	17	84	508
14	音羽	6	12	1	2	1	0	1	2	0	0	9	34
15	本郷南	18	16	15	14	7	1	4	0	1	0	13	89
16	本郷北	8	18	10	7	2	1	4	3	0	0	2	55
17	湯島	48	13	64	22	16	8	6	3	4	5	37	226
18	西片	1	18	11	18	3	2	2	3	0	0	8	66
19	向丘	39	46	47	12	5	10	3	3	2	0	7	174
20	弥生	50	22	109	40	10	7	11	29	0	0	54	332
21	根津	16	4	26	12	12	9	6	4	0	2	11	102
22	千駄木	19	51	23	30	17	13	5	8	1	1	10	178
23	本駒込東	40	56	82	7	34	1	9	1	0	0	10	240
24	本駒込西	41	59	80	23	11	6	6	6	1	0	33	266
一般区域小計		741	848	878	510	327	207	212	173	90	58	619	4,663
25	東大本郷	165	34	141	59	93	35	59	30	13	4	92	725
26	六義園	77	15	13	84	53	29	0	18	7	16	118	430
27	後楽園	63	16	10	69	43	90	0	18	4	6	69	388
28	植物園	31	141	27	32	16	24	6	23	23	21	327	671
29	豊島岡墓地	12	22	2	105	19	30	2	9	44	29	102	376
特別区域小計		348	228	193	349	224	208	67	98	91	76	708	2,590
区全体		1,089	1,076	1,071	859	551	415	279	271	181	134	1,327	7,253

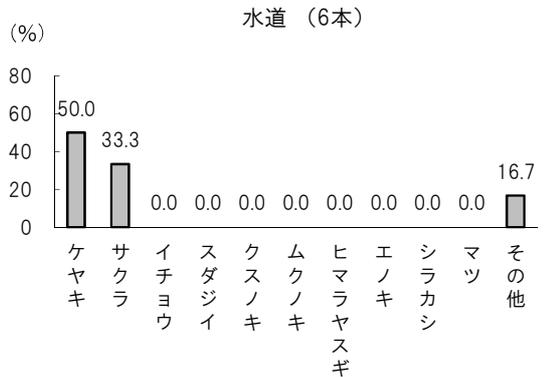
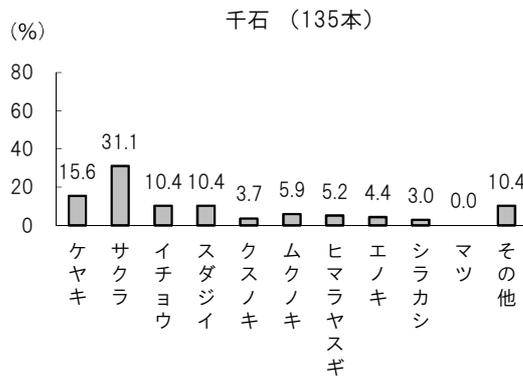
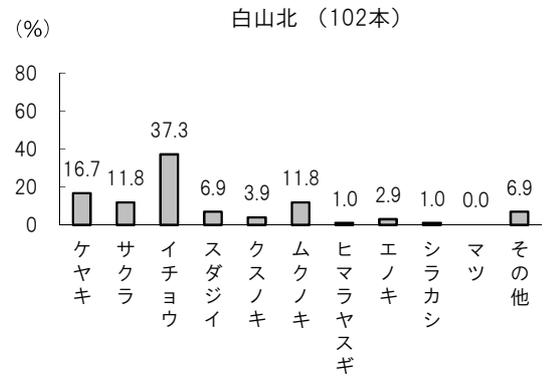
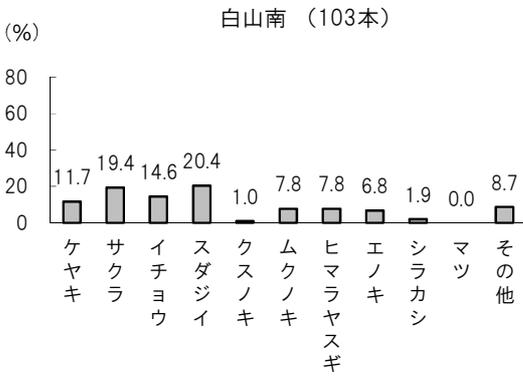
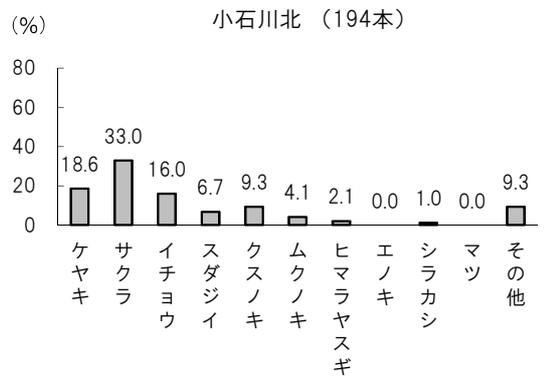
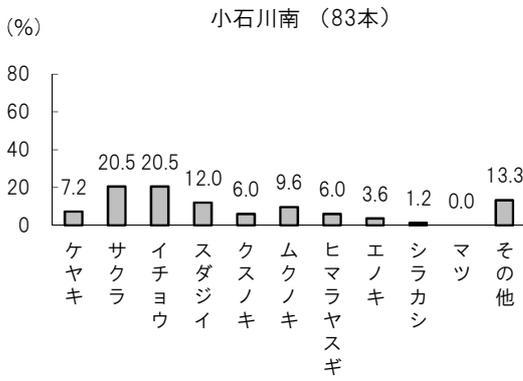
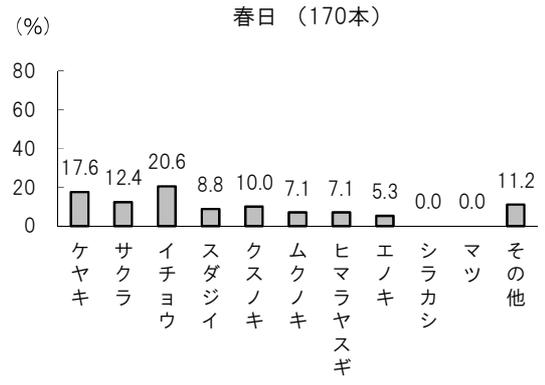
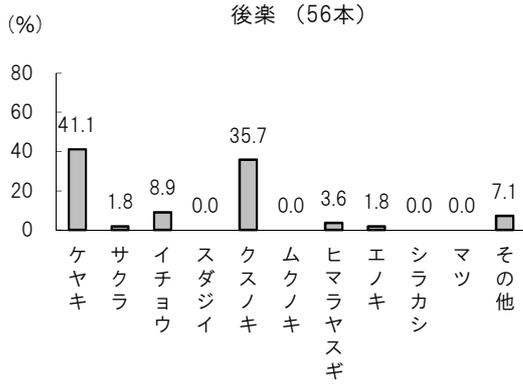
本区の樹木本数の多い上位4種（ケヤキ、サクラ、イチョウ、スダジイ）に着目し、一般区域における樹種別の区域構成を図Ⅲ-14に示す。

一般区域の区域別上位4位に分類すると、以下に示すような結果となる。一方、特別区域は、一般区域と比較すると多様な樹種構成となっている。

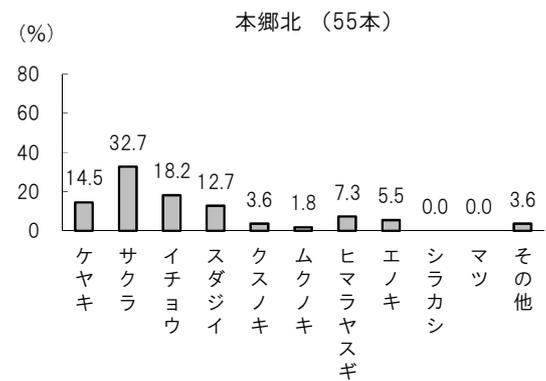
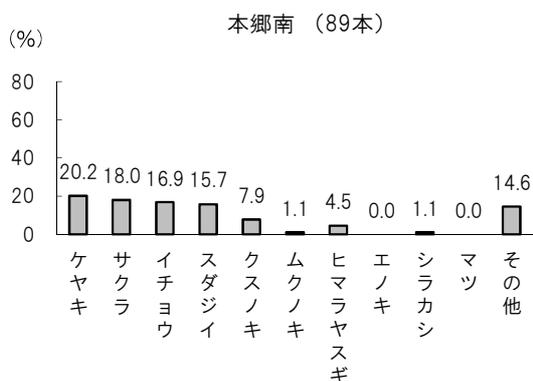
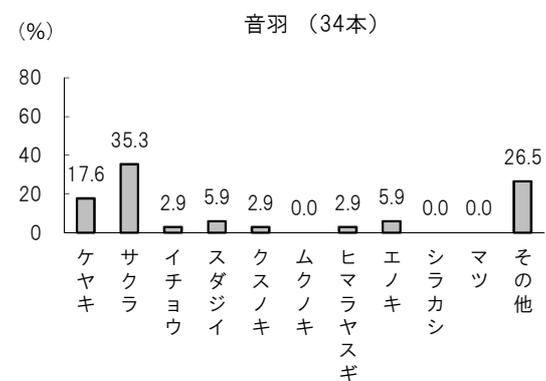
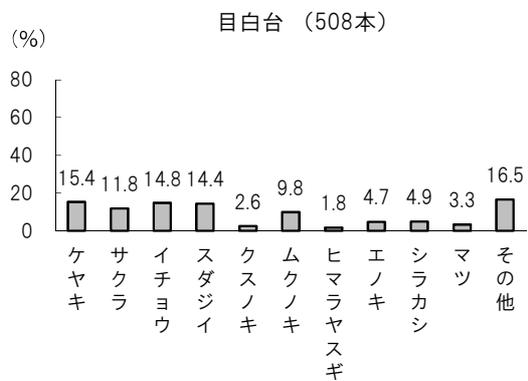
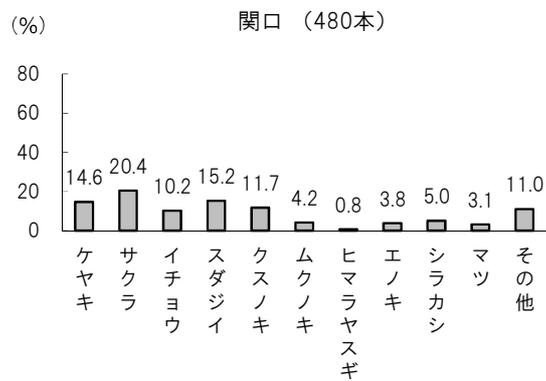
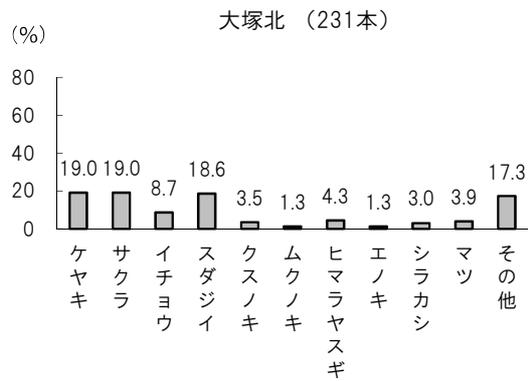
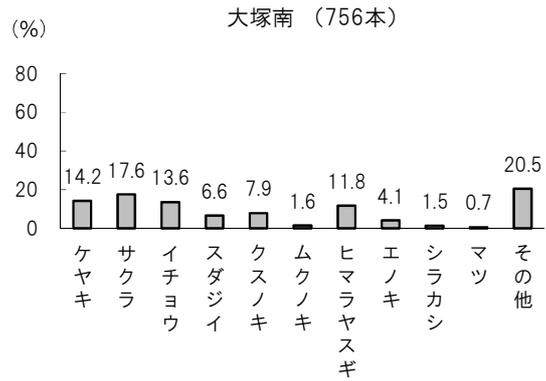
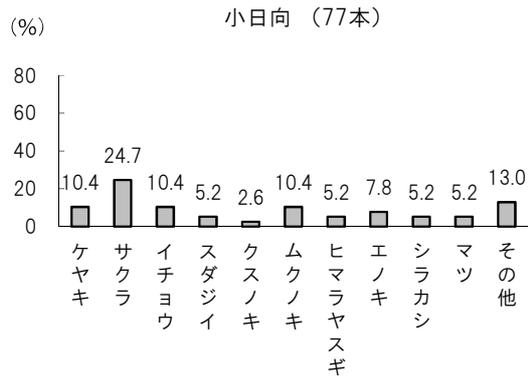
- ケヤキが多い区域 : 大塚南、目白台、関口、弥生
- サクラが多い区域 : 大塚南、関口、小石川北、目白台
- イチョウが多い区域 : 弥生、大塚南、本駒込東、本駒込西
- スダジイが多い区域 : 関口、目白台、大塚南、大塚北
- 多様な樹種構成の区域 : 特別区域



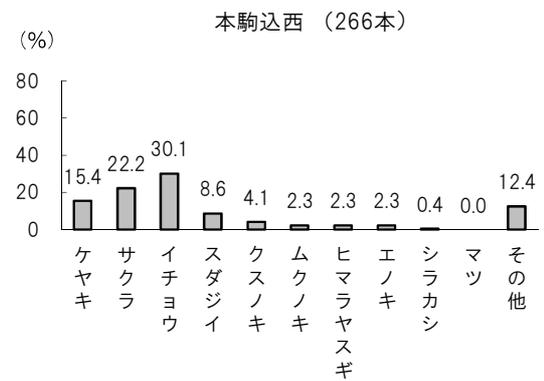
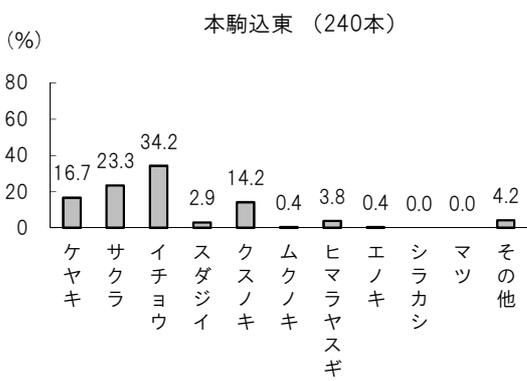
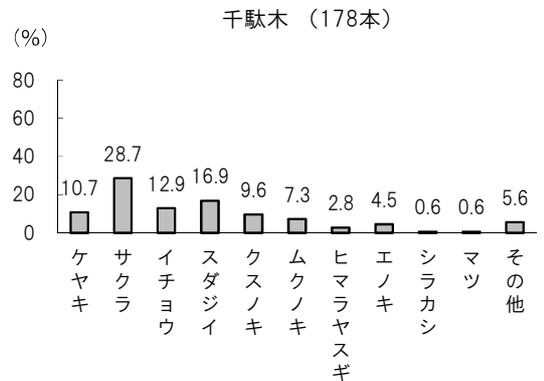
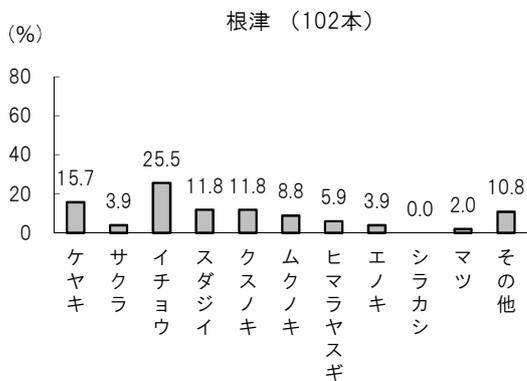
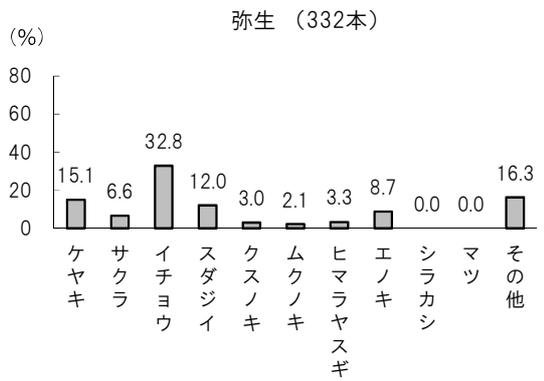
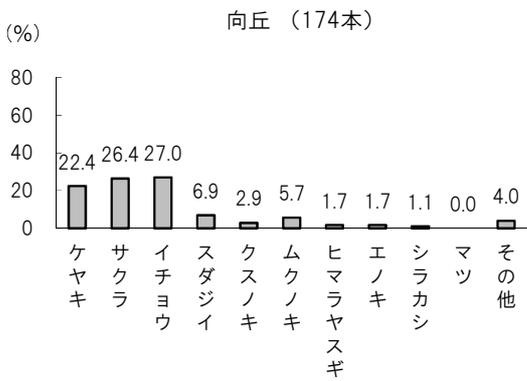
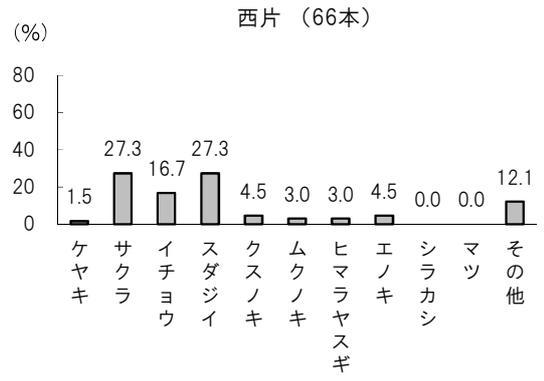
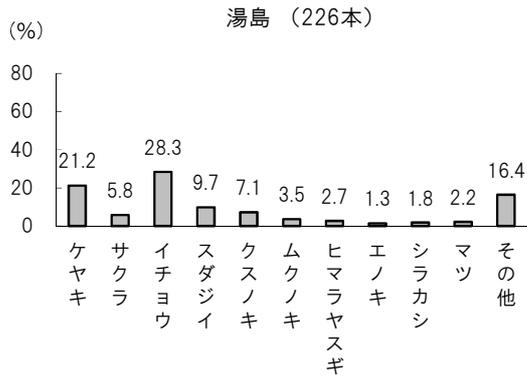
図Ⅲ-14 一般区域の区域別樹種の特徴



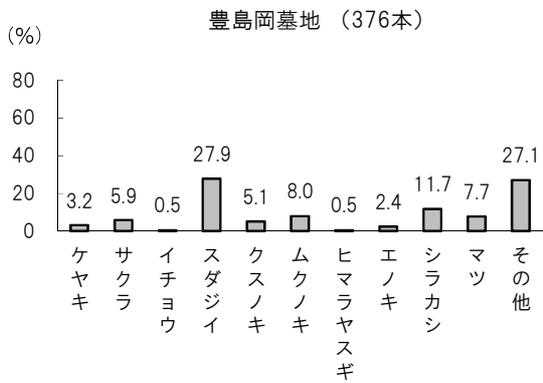
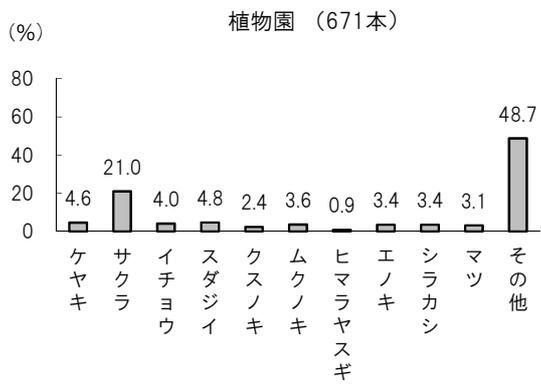
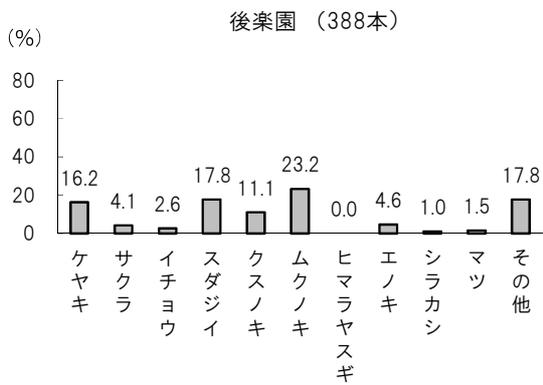
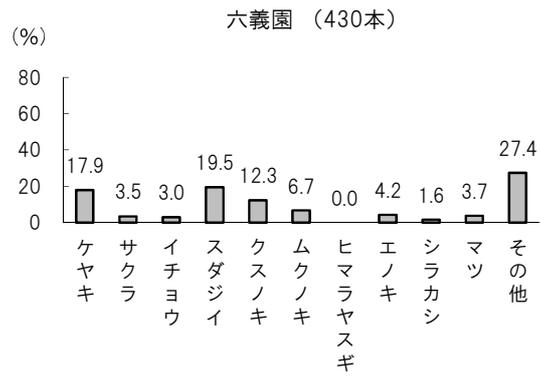
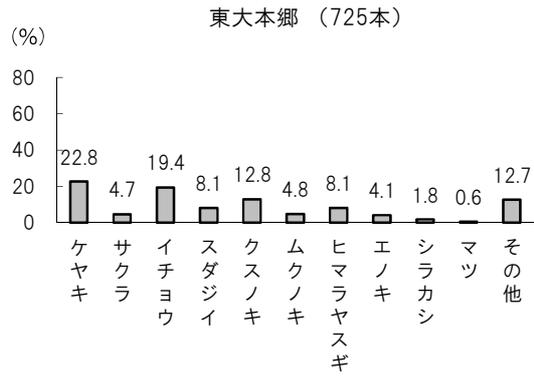
図Ⅲ-15 区域別樹種別樹木本数構成比 (1/4)



図Ⅲ-16 区域別樹種別樹木本数構成比 (2/4)



図Ⅲ-17 区域別樹種別樹木本数構成比 (3/4)



図Ⅲ－18 区域別樹種別樹木本数構成比 (4/4)

1-5. 樹木の経年変化

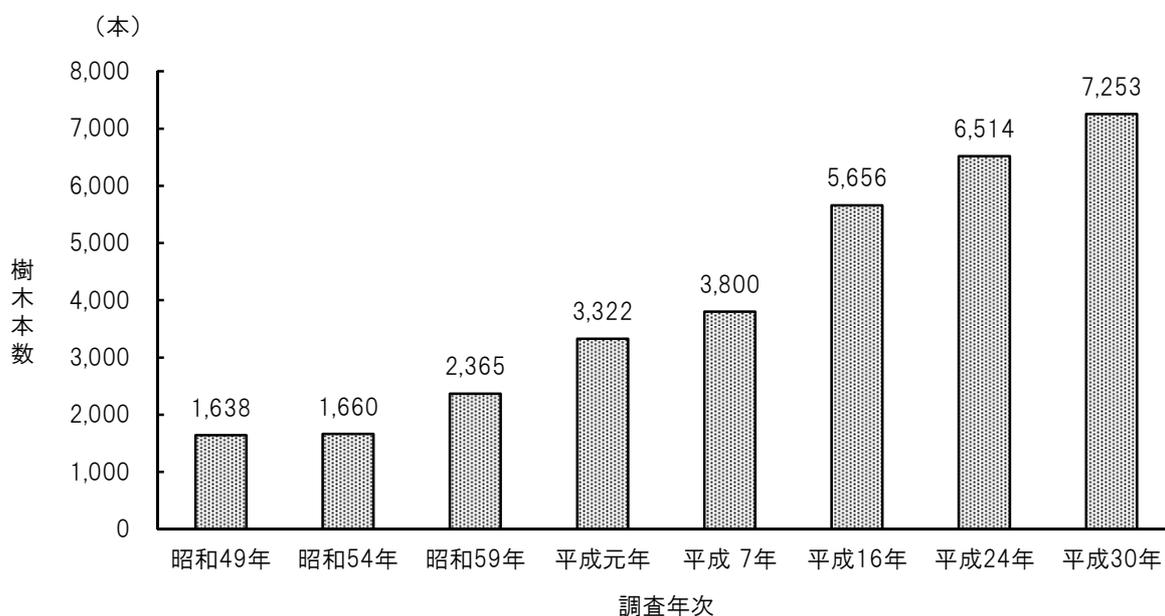
(1) 樹木本数の変化

過去7回の調査において、胸高直径50cm以上の樹木を対象に今回の調査の樹木本数と比較し、表Ⅲ-16および図Ⅲ-19に示す。

過去7回の調査では、樹木本数はいずれも増加もしくはほぼ横ばいで推移しており、今回の調査でも前回（平成24年）から739本増加し、同様の傾向を示している。

表Ⅲ-16 樹木本数の経年変化

調査年	樹木総数(本)
昭和49年	1,638
昭和54年	1,660
昭和59年	2,365
平成元年	3,322
平成7年	3,800
平成16年	5,656
平成24年	6,514
平成30年	7,253



図Ⅲ-19 樹木本数の経年変化

前回と今回の調査における区域別樹木本数の変化を表Ⅲ－１７、図Ⅲ－２０に示す。

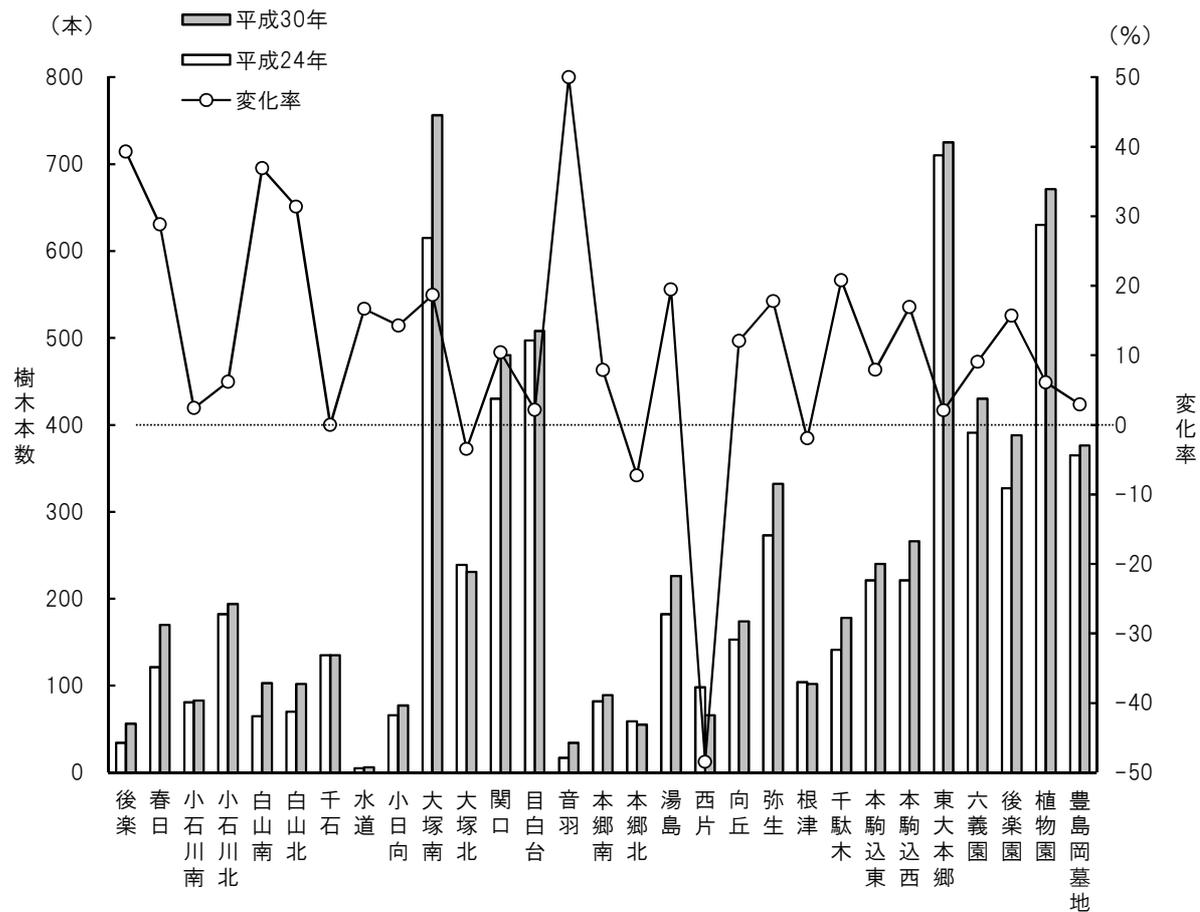
区域別では、大塚南での増加が 141 本と顕著で、次いで弥生、関口といずれも 50 本以上増加している。

一方、西方で最大 32 本の減少がみられ、変化率も－48.5%と大きいですが、これは誠之小学校改築に伴う施設解体工事が影響している。また、大塚北、本郷北、根津の区域においても減少しているが、比較的小さな変動となっている。

- 増加している区域： 大塚南、弥生、関口
- 減少している区域： 西方、大塚北、本郷北、根津

表Ⅲ－１７ 区域別樹木本数の経年変化

区域番号	区域	平成24年 (本)	平成30年 (本)	増減値 (本)	変化率 (%)
1	後楽	34	56	22	39.3
2	春日	121	170	49	28.8
3	小石川南	81	83	2	2.4
4	小石川北	182	194	12	6.2
5	白山南	65	103	38	36.9
6	白山北	70	102	32	31.4
7	千石	135	135	0	0.0
8	水道	5	6	1	16.7
9	小日向	66	77	11	14.3
10	大塚南	615	756	141	18.7
11	大塚北	239	231	-8	-3.5
12	関口	430	480	50	10.4
13	目白台	497	508	11	2.2
14	音羽	17	34	17	50.0
15	本郷南	82	89	7	7.9
16	本郷北	59	55	-4	-7.3
17	湯島	182	226	44	19.5
18	西片	98	66	-32	-48.5
19	向丘	153	174	21	12.1
20	弥生	273	332	59	17.8
21	根津	104	102	-2	-2.0
22	千駄木	141	178	37	20.8
23	本駒込東	221	240	19	7.9
24	本駒込西	221	266	45	16.9
25	東大本郷	710	725	15	2.1
26	六義園	391	430	39	9.1
27	後楽園	327	388	61	15.7
28	植物園	630	671	41	6.1
29	豊島岡墓地	365	376	11	2.9
	区全体	6,514	7,253	739	10.2



図Ⅲ－２０ 区域別樹木本数の経年変化

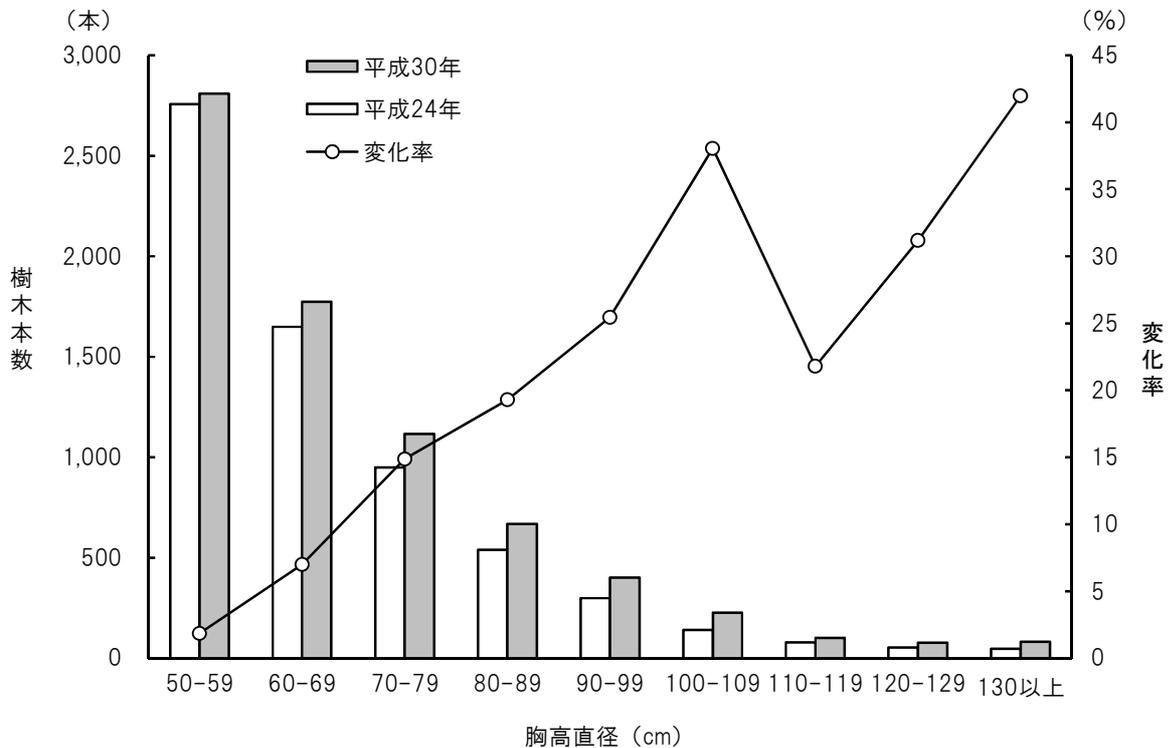
(2) 太さ別の樹木本数の変化

前回調査と比較するため、胸高直径 50cm 以上の樹木における太さ別の樹木本数の増減を表Ⅲ－18および図Ⅲ－21に示す。

いずれの胸高直径においても樹木本数が増加している。直径 50cm 以上の樹木は、比較的大きな樹形となるため、伐採等の影響をあまり受けずに経年変化による成長分が表れたと考えられる。

表Ⅲ－18 太さ別樹木本数の経年変化

胸高直径(cm)	平成24年 (本)	平成30年 (本)	増減 (本)	変化率 (%)
50-59	2,757	2,809	52	1.9
60-69	1,649	1,773	124	7.0
70-79	950	1,116	166	14.9
80-89	540	669	129	19.3
90-99	299	401	102	25.4
100-109	140	226	86	38.1
110-119	79	101	22	21.8
120-129	53	77	24	31.2
130以上	47	81	34	42.0
合計	6,514	7,253	739	10.2



図Ⅲ－21 太さ別樹木本数の経年変化

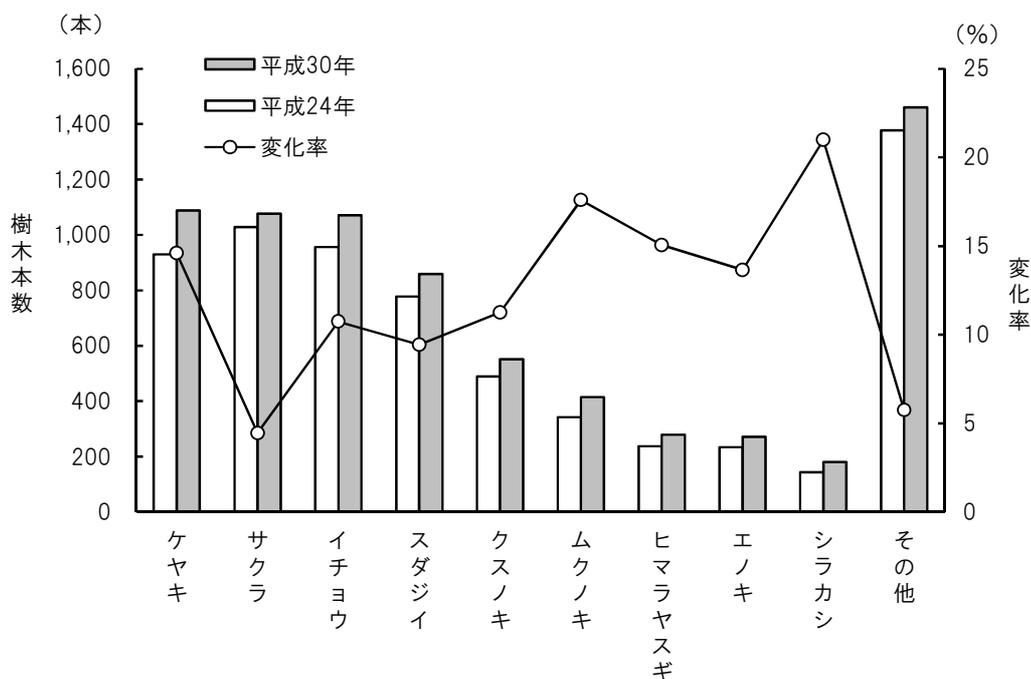
(3) 樹種別の樹木本数の変化

前回調査と比較するため、胸高直径 50cm 以上の樹木において樹種別樹木本数上位の樹種ついての変動状況を表Ⅲ－19および図Ⅲ－22に示す。

いずれの樹種においても樹木本数が増加しており、特にケヤキ、イチョウで 100 本以上と顕著である。他の樹種についても、もっとも増加本数が少ないエノキでも 37 本の増加がみられ、上位樹種だけで 655 本増加しており、全体の増加分（739 本）の 9 割近くを占めている。

表Ⅲ－19 樹種別樹木本数の経年変化

樹種	平成24年 (本)	平成30年 (本)	増減値 (本)	変化率 (%)
ケヤキ	930	1,089	159	14.6
サクラ	1,028	1,076	48	4.5
イチョウ	956	1,071	115	10.7
スダジイ	778	859	81	9.4
クスノキ	489	551	62	11.3
ムクノキ	342	415	73	17.6
ヒマラヤスギ	237	279	42	15.1
エノキ	234	271	37	13.7
シラカシ	143	181	38	21.0
その他	1,377	1,461	84	5.7
計	6,514	7,253	739	10.2



図Ⅲ－22 樹種別樹木本数の経年変化

2. 保護樹木の状況

2-1. 保護樹木の健康度

(1) 主要樹種の健康度

保護樹木の健康度を次の評価（表Ⅲ-20）で算出する。

表Ⅲ-20 健康度の評価基準

調査項目	1. 良好、正常 (1点)	2. 普通、正常に近い (2点)	3. 悪化のかなり 進んでいる (3点)	4. 顕著に悪化している (4点)
樹勢	生育旺盛	多少影響あるが あまり目立たない程度	異常が一目でわかる程度	生育劣弱で回復見込みないとみられるもの
樹形	自然樹形を保つもの	一部幾分の乱れがあるが、 自然樹形に近いもの	自然樹形の崩壊が かなり進んだもの	自然樹形が全く崩壊し、 奇形化しているもの
枝葉密度	枝および葉の密度の バランスがとれている	1に比べやや劣る	やや疎	枯枝が多く、 葉の発生が少ない 密度が著しく疎
葉色	正常	やや異常	かなり異常	著しく異常

○ 健康度の算出方法

$$\text{健康度} = \frac{\text{樹勢の点数} + \text{樹形の点数} + \text{枝葉密度の点数} + \text{葉色の点数}}{4}$$

平成30年10月1日現在で文京区が指定している保護樹木は690本あり、現地確認調査をおこなった結果、不存在だった樹木9本を除く681本の樹木について確認できた。

調査対象となった保護樹木の健康度の評価基準別内訳を表Ⅲ-21に示す。樹勢と葉色は半数以上が良好で枝葉密度では概ね正常であるが、樹形にいたっては正常からやや悪化も多いことがうかがえる。これは剪定作業等の影響で評価が低くなる傾向とも読み取れる。

ただ、顕著に悪化していると思われる樹木もあり、単木単位での特別な対処も必要と考えられる。

表Ⅲ-21 健康度の評価基準別内訳

調査項目	1.良好、正常	2.普通、正常に近い	3.悪化のかなり進んでいる	4.顕著に悪化している
樹勢	352本	273本	55本	1本
樹形	151本	427本	100本	3本
枝葉密度	304本	328本	47本	2本
葉色	468本	196本	17本	0本

保護樹木の主な樹種別の健康度の評価について、樹種別の健康度および内訳を表Ⅲ－２、２３、２４および図Ⅲ－２３に示す。

表Ⅲ－２２ 樹種別の健康度

樹種	調査本数	健康度
		681本
イチョウ	206本	1.72
ケヤキ	114本	1.70
スダジイ	105本	1.66
サクラ	65本	1.50
ムクノキ	45本	1.42
クスノキ	37本	1.37
ヒマラヤスギ	18本	1.51
その他	91本	1.53

注：1.00に近い数値ほど健康度が高い。

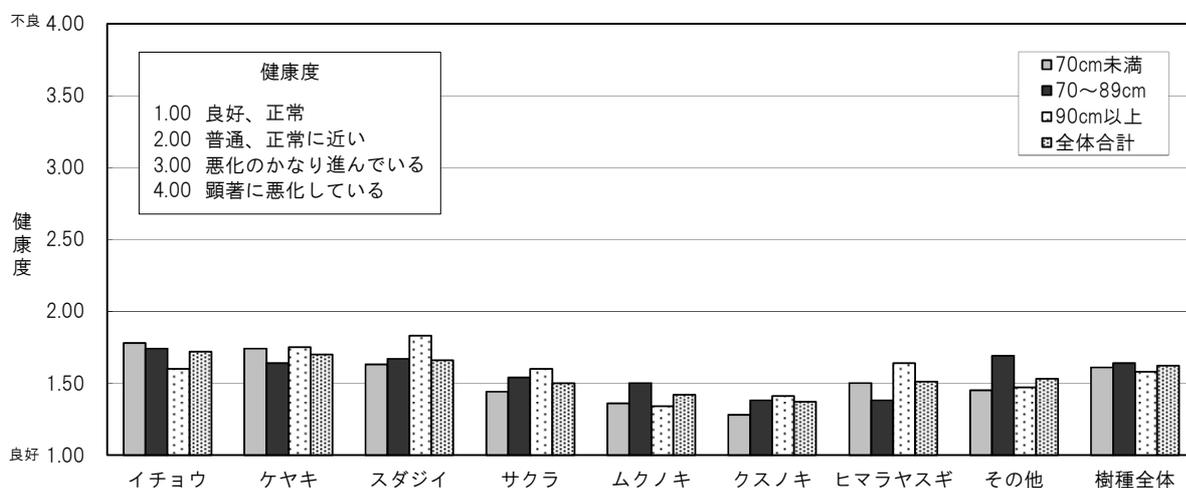
樹種としてはイチョウ、ケヤキ、スダジイが全体の半分以上を占めており、これらを含む上位7種の樹種は、胸高直径50cm以上の樹木本数の上位7種と同じである。

全体平均の健康度は1.62で、全体的に良好であり、健康度としては特に問題ないと判断され、樹種別の健康度においても大きな差異はみられない。

健康度の内訳をみると、スダジイの直径90cm以上の健康度がもっとも悪く、次いでイチョウの直径50～70cmが悪いが、直径90cm以上は全体平均の健康度を上回っている。

表Ⅲ－２３ 樹種別健康度の内訳

樹種	直径	本数	平均健康度
イチョウ	50～69cm	71	1.78
	70～89cm	89	1.74
	90cm以上	46	1.60
	合計	206	1.72
ケヤキ	50～69cm	42	1.74
	70～89cm	49	1.64
	90cm以上	23	1.75
	合計	114	1.70
スダジイ	50～69cm	57	1.63
	70～89cm	39	1.67
	90cm以上	9	1.83
	合計	105	1.66
サクラ	50～69cm	31	1.44
	70～89cm	29	1.54
	90cm以上	5	1.60
	合計	65	1.50
ムクノキ	50～69cm	9	1.36
	70～89cm	20	1.50
	90cm以上	16	1.34
	合計	45	1.42
クスノキ	50～69cm	8	1.28
	70～89cm	13	1.38
	90cm以上	16	1.41
	合計	37	1.37
ヒマラヤスギ	50～69cm	5	1.50
	70～89cm	6	1.38
	90cm以上	7	1.64
	合計	18	1.51
その他	50～69cm	46	1.45
	70～89cm	28	1.69
	90cm以上	17	1.47
	合計	91	1.53
樹種全体	50～69cm	269	1.61
	70～89cm	273	1.64
	90cm以上	139	1.58
	合計	681	1.62



図Ⅲ－２３ 樹種別健康度

表Ⅲ－２４ 樹種別健康度の内訳（詳細）

樹種	直径	本数	平均健康度	健康度の内訳			
				1.樹勢	2.樹形	3.枝葉密度	4.葉色
イチヨウ	50～59cm	19	1.88	1.74	2.26	1.79	1.74
	60～69cm	52	1.74	1.67	2.12	1.83	1.35
	70～79cm	63	1.75	1.76	2.02	1.84	1.37
	80～89cm	26	1.71	1.73	2.08	1.69	1.35
	90cm以上	46	1.60	1.57	1.87	1.57	1.41
	合計	206	1.72	1.69	2.04	1.75	1.40
ケヤキ	50～59cm	13	1.52	1.38	1.62	1.77	1.31
	60～69cm	29	1.84	1.62	2.17	1.79	1.76
	70～79cm	23	1.73	1.70	1.96	1.78	1.48
	80～89cm	26	1.57	1.50	1.85	1.62	1.31
	90cm以上	23	1.75	1.52	2.00	1.91	1.57
	合計	114	1.70	1.56	1.96	1.77	1.51
スダジイ	50～59cm	22	1.47	1.50	1.86	1.32	1.18
	60～69cm	35	1.73	1.77	2.11	1.66	1.37
	70～79cm	26	1.73	1.73	1.96	1.77	1.46
	80～89cm	13	1.56	1.46	1.77	1.62	1.38
	90cm以上	9	1.83	1.89	2.11	1.89	1.44
	合計	105	1.66	1.68	1.98	1.63	1.36
サクラ	50～59cm	19	1.47	1.32	2.00	1.37	1.21
	60～69cm	12	1.40	1.42	1.92	1.17	1.08
	70～79cm	17	1.57	1.59	2.00	1.53	1.18
	80～89cm	12	1.50	1.50	1.92	1.42	1.17
	90cm以上	5	1.60	1.40	2.00	1.80	1.20
	合計	65	1.50	1.45	1.97	1.42	1.17
ムクノキ	50～59cm	2	1.75	2.00	2.00	2.00	1.00
	60～69cm	7	1.25	1.29	1.43	1.29	1.00
	70～79cm	11	1.55	1.64	1.82	1.64	1.09
	80～89cm	9	1.44	1.33	1.78	1.44	1.22
	90cm以上	16	1.34	1.25	1.63	1.44	1.06
	合計	45	1.42	1.40	1.69	1.49	1.09
クスノキ	50～59cm	5	1.30	1.20	2.00	1.00	1.00
	60～69cm	3	1.25	1.33	1.33	1.33	1.00
	70～79cm	10	1.38	1.40	1.60	1.30	1.20
	80～89cm	3	1.42	1.33	1.67	1.33	1.33
	90cm以上	16	1.41	1.38	1.69	1.38	1.19
	合計	37	1.37	1.35	1.68	1.30	1.16
ヒマラヤスギ	50～59cm	3	1.42	1.67	2.00	1.00	1.00
	60～69cm	2	1.63	1.50	2.00	1.50	1.50
	70～79cm	3	1.42	1.33	2.33	1.00	1.00
	80～89cm	3	1.33	1.67	1.67	1.00	1.00
	90cm以上	7	1.64	1.71	1.86	1.71	1.29
	合計	18	1.51	1.61	1.94	1.33	1.17
その他	50～59cm	20	1.50	1.45	1.75	1.60	1.20
	60～69cm	26	1.41	1.35	1.73	1.38	1.19
	70～79cm	16	1.67	1.50	2.00	1.81	1.38
	80～89cm	12	1.71	1.50	2.00	1.75	1.58
	90cm以上	17	1.47	1.35	1.71	1.53	1.29
	合計	91	1.53	1.42	1.81	1.58	1.30
樹種全体	50～59cm	103	1.55	1.49	1.92	1.51	1.29
	60～69cm	166	1.65	1.59	2.01	1.63	1.36
	70～79cm	169	1.68	1.67	1.96	1.73	1.34
	80～89cm	104	1.59	1.54	1.90	1.59	1.33
	90cm以上	139	1.58	1.50	1.84	1.62	1.35
	合計	681	1.62	1.57	1.93	1.63	1.34

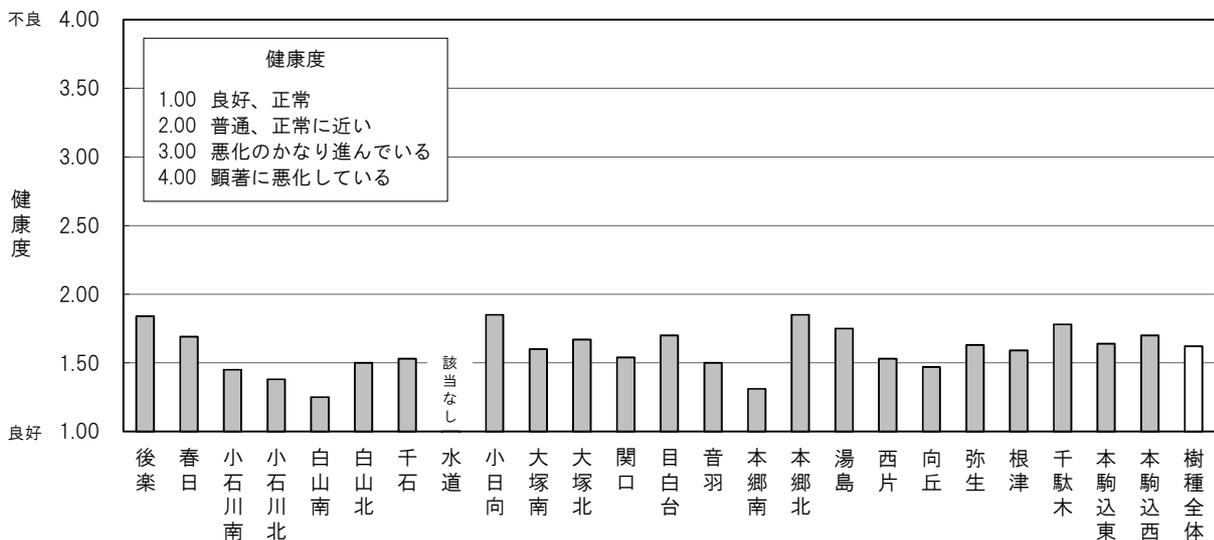
(2) 区域別健康度

区域別の樹木の健康度を表Ⅲ－２５、図Ⅲ－２４に示し、区域ごとの樹種別健康度を表Ⅲ－２６に示す。

区域別の健康度には特に傾向はみられず、地域的な影響は考えられないと判断される。評価項目別にみても突出して悪い評価の区域はない。

表Ⅲ－２５ 区域別健康度

No.	区域	樹木本数	直径(cm)	樹勢	樹形	枝葉密度	葉色	樹種全体
1	後楽	11	69.7	1.73	2.18	1.82	1.64	1.84
2	春日	13	73.3	1.77	1.85	1.77	1.38	1.69
3	小石川南	33	70.1	1.55	1.64	1.52	1.09	1.45
4	小石川北	10	90.9	1.30	1.70	1.40	1.10	1.38
5	白山南	8	79.1	1.13	1.50	1.25	1.13	1.25
6	白山北	19	78.5	1.42	1.89	1.42	1.26	1.50
7	千石	19	68.0	1.47	1.95	1.42	1.26	1.53
8	水道	0	—	—	—	—	—	—
9	小日向	12	75.2	1.75	2.25	2.00	1.42	1.85
10	大塚南	18	61.2	1.56	1.89	1.50	1.44	1.60
11	大塚北	34	74.5	1.56	2.08	1.88	1.21	1.67
12	関口	66	79.2	1.52	1.73	1.55	1.38	1.54
13	目白台	119	79.8	1.62	1.97	1.79	1.40	1.70
14	音羽	1	63.0	1.00	2.00	2.00	1.00	1.50
15	本郷南	8	101.6	1.38	1.38	1.25	1.25	1.31
16	本郷北	17	75.1	1.76	2.18	1.82	1.65	1.85
17	湯島	10	82.6	1.80	2.20	1.70	1.30	1.75
18	西片	18	70.9	1.56	1.89	1.39	1.28	1.53
19	向丘	58	76.6	1.36	1.98	1.34	1.17	1.47
20	弥生	2	84.0	1.50	2.00	2.00	1.00	1.63
21	根津	48	81.5	1.52	1.88	1.65	1.33	1.59
22	千駄木	15	80.3	1.67	2.27	1.73	1.47	1.78
23	本駒込東	57	77.3	1.70	1.95	1.49	1.44	1.64
24	本駒込西	85	74.6	1.61	2.06	1.78	1.36	1.70
	樹種合計	681	76.9	1.57	1.93	1.63	1.34	1.62



図Ⅲ－２４ 区域別健康度

表Ⅲ－２６ 区域別樹種別健康度

No.	区域	樹種名	本数	平均健康度	No.	区域	樹種名	本数	平均健康度
1	後楽	イチョウ	4	1.94	13	目白台	イチョウ	15	1.82
		ケヤキ	5	1.90			ケヤキ	36	1.86
		スダジイ	0	—			スダジイ	19	1.68
		サクラ	0	—			サクラ	6	1.71
		ムクノキ	0	—			ムクノキ	12	1.50
		その他	2	1.50			その他	31	1.52
2	春日	イチョウ	1	2.50	14	音羽	イチョウ	0	—
		ケヤキ	1	1.75			ケヤキ	1	1.50
		スダジイ	4	1.38			スダジイ	0	—
		サクラ	1	1.75			サクラ	0	—
		ムクノキ	2	1.50			ムクノキ	0	—
		その他	4	1.88			その他	0	—
3	小石川南	イチョウ	10	1.40	15	本郷南	イチョウ	1	1.00
		ケヤキ	0	—			ケヤキ	1	1.00
		スダジイ	7	1.57			スダジイ	2	2.00
		サクラ	4	1.38			サクラ	1	1.50
		ムクノキ	5	1.75			ムクノキ	1	1.00
		その他	7	1.21			その他	2	1.00
4	小石川北	イチョウ	2	2.13	16	本郷北	イチョウ	6	1.63
		ケヤキ	0	—			ケヤキ	1	1.75
		スダジイ	0	—			スダジイ	3	2.25
		サクラ	0	—			サクラ	2	2.25
		ムクノキ	0	—			ムクノキ	0	—
		その他	8	1.19			その他	5	1.75
5	白山南	イチョウ	2	1.63	17	湯島	イチョウ	5	2.00
		ケヤキ	0	—			ケヤキ	1	2.00
		スダジイ	0	—			スダジイ	1	1.50
		サクラ	2	1.25			サクラ	0	—
		ムクノキ	1	1.25			ムクノキ	0	—
		その他	3	1.00			その他	3	1.33
6	白山北	イチョウ	6	1.50	18	西片	イチョウ	3	1.75
		ケヤキ	3	1.33			ケヤキ	0	—
		スダジイ	2	1.88			スダジイ	5	1.65
		サクラ	1	1.25			サクラ	3	1.92
		ムクノキ	5	1.45			ムクノキ	1	1.00
		その他	2	1.63			その他	6	1.21
7	千石	イチョウ	2	2.13	19	向丘	イチョウ	18	1.63
		ケヤキ	3	2.00			ケヤキ	10	1.43
		スダジイ	3	1.25			スダジイ	5	2.10
		サクラ	5	1.45			サクラ	19	1.28
		ムクノキ	1	1.25			ムクノキ	3	1.08
		その他	5	1.30			その他	3	1.17
8	水道	イチョウ	0	—	20	弥生	イチョウ	0	—
		ケヤキ	0	—			ケヤキ	0	—
		スダジイ	0	—			スダジイ	2	1.63
		サクラ	0	—			サクラ	0	—
		ムクノキ	0	—			ムクノキ	0	—
		その他	0	—			その他	0	—
9	小日向	イチョウ	6	2.17	21	根津	イチョウ	20	1.63
		ケヤキ	2	1.75			ケヤキ	8	1.59
		スダジイ	1	1.75			スダジイ	2	1.50
		サクラ	2	1.25			サクラ	0	—
		ムクノキ	0	—			ムクノキ	4	1.38
		その他	1	1.50			その他	14	1.63
10	大塚南	イチョウ	3	1.33	22	千駄木	イチョウ	4	1.69
		ケヤキ	3	1.92			ケヤキ	2	2.38
		スダジイ	6	1.46			スダジイ	5	1.70
		サクラ	1	2.00			サクラ	1	1.50
		ムクノキ	0	—			ムクノキ	2	1.38
		その他	5	1.65			その他	1	2.50
11	大塚北	イチョウ	7	1.75	23	本駒込東	イチョウ	30	1.83
		ケヤキ	8	1.59			ケヤキ	4	1.13
		スダジイ	5	1.85			スダジイ	13	1.50
		サクラ	4	1.69			サクラ	2	1.63
		ムクノキ	0	—			ムクノキ	1	1.50
		その他	10	1.58			その他	7	1.43
12	関口	イチョウ	6	1.33	24	本駒込西	イチョウ	55	1.74
		ケヤキ	21	1.67			ケヤキ	4	1.50
		スダジイ	18	1.68			スダジイ	2	1.63
		サクラ	1	1.25			サクラ	10	1.58
		ムクノキ	7	1.32			ムクノキ	0	—
		その他	13	1.38			その他	14	1.73

2-2. 健康度の経年変化

保護樹木における健康度の経年変化の状況を表Ⅲ-27、図Ⅲ-25に示す。

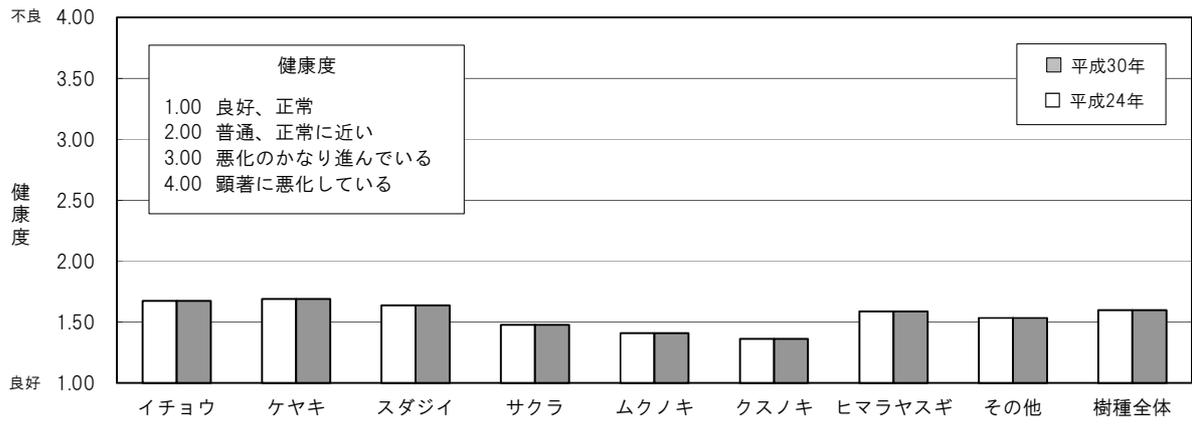
○平成30年度平均健康度 1.62 ○平成24年度平均健康度 1.60

全体的に健康度の経年変化をみると、やや悪化しているが大きな変化はなかった。

樹種別に健康度の経年変化をみると、ヒマラヤスギが唯一良好へ転じているが、スダジイ、サクラ、イチヨウの直径90cm以上の悪化が進んでいる。老木であることから注意して保護していくことが望まれる。

表Ⅲ-27 樹種別健康度の経年変化

樹種	直径	健康度		増減
		平成24年	平成30年	
イチヨウ	50～69cm	1.79	1.78	0.01
	70～89cm	1.65	1.74	-0.09
	90cm以上	1.48	1.60	-0.12
	合計	1.67	1.72	-0.05
ケヤキ	50～69cm	1.68	1.74	-0.06
	70～89cm	1.68	1.64	0.04
	90cm以上	1.73	1.75	-0.02
	合計	1.69	1.70	-0.01
スダジイ	50～69cm	1.63	1.63	0.00
	70～89cm	1.67	1.67	0.00
	90cm以上	1.54	1.83	-0.29
	合計	1.64	1.66	-0.02
サクラ	50～69cm	1.47	1.44	0.03
	70～89cm	1.44	1.54	-0.10
	90cm以上	1.42	1.60	-0.18
	合計	1.48	1.50	-0.02
ムクノキ	50～69cm	1.42	1.36	0.06
	70～89cm	1.46	1.50	-0.04
	90cm以上	1.32	1.34	-0.02
	合計	1.41	1.42	-0.01
クスノキ	50～69cm	1.20	1.28	-0.08
	70～89cm	1.49	1.38	0.11
	90cm以上	1.37	1.41	-0.04
	合計	1.36	1.37	-0.01
ヒマラヤスギ	50～69cm	1.64	1.50	0.14
	70～89cm	1.55	1.38	0.17
	90cm以上	1.58	1.64	-0.06
	合計	1.59	1.51	0.08
その他	50～69cm	1.50	1.45	0.05
	70～89cm	1.64	1.69	-0.05
	90cm以上	1.46	1.47	-0.01
	合計	1.53	1.53	0.00
樹種全体	50～69cm	1.62	1.61	0.01
	70～89cm	1.62	1.64	-0.02
	90cm以上	1.49	1.58	-0.09
	合計	1.60	1.62	-0.02



図Ⅲ－２５ 樹種別健康度の経年変化

